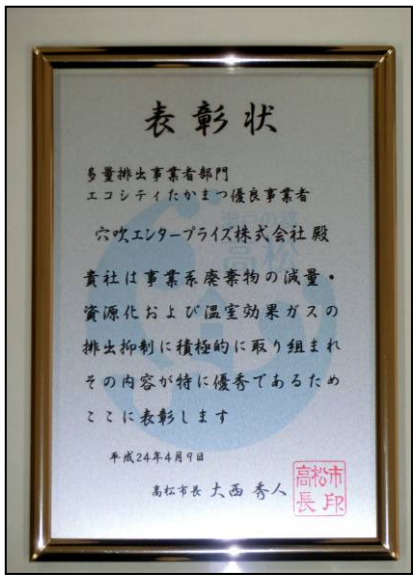
エコアクション21

認証・登録番号 0004815

# エコアクション21
# 環境活動レポート

期間：2012年4月～2013年3月



表彰状

多量排出事業者部門
エコシティたかまつ優良事業者

穴吹エンタープライズ株式会社 殿

貴社は事業系廃棄物の減量・資源化および温室効果ガスの排出抑制に積極的に取り組まれその内容が特に優秀であるためここに表彰します

平成24年4月9日

高松市長 大西 秀人 高松市長印

## 『エコシティ高松』（高松市）

## 日頃のエコ活動が認められ、
## 優良事業者として
## 表彰されました！

あなぶきエンタープライズ
ANABUKI

# 目　次


| | | |
|---|---|---|
| 1. | 環境方針 | 1 |
| 2. | 事業内容 | 2 |
| 3. | エコアクション２１推進体制組織図 | 6 |
| 4. | 全社中長期目標 | 7 |
| 5. | 今年度の環境目標と活動計画・実績 | 8 |
| 6. | 各施設活動報告 | 15 |
| 6-1 | サンメッセ香川 | 16 |
| 6-2 | アルファあなぶきホール | 17 |
| 6-3 | 高松テルサ | 18 |
| 6-4 | クアパーク津田・クアタラソさぬき津田 | 19 |
| 6-5 | 津田の松原サービスエリア | 20 |
| 6-6 | アルファ津田カントリークラブ | 21 |
| 6-7 | 高松国際ホテル | 22 |
| 6-8 | チサン イン高松 | 23 |
| 6-9 | ロイヤルパークホテル高松 | 24 |
| 6-10 | 琴平パークホテル | 25 |
| 6-11 | リーガホテルゼスト高松 | 26 |
| 6-12 | 旅館くらしき・倉敷珈琲館・あなぶき家庭瀬店 | 27 |
| 6-13 | 管理本部 | 28 |
| 6-14 | ストアマネジメント課・フーズケア課 | 29 |
| 7. | 今後のエコ活動計画 | 30 |
| 8. | 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 | 31 |
| 9. | 代表者による全体評価と見直しについて | 32 |

# 1.【 環 境 方 針 】

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

**1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。**

お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。

**2. 廃棄物の適正処理と削減に取組みます。**

（1）3R を推進し、廃棄物の削減をします。

※3R（Reduce：発生抑制・Reuse：再使用・Recycle：再資源化）

（2）食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。

**3. 環境コミュニケーションに取組みます。**

エコ活動レポートを社内外に公表し、社会からの信頼向上に努めます。

**4. 法令を遵守します。**

環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。

**5. 環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。**

全スタッフへ環境に関しての教育を行い、継続的改善に努めます。

制定日　2011年3月1日

改定日　2012年5月1日

穴吹エンタープライズ株式会社

代表取締役　　小島　英夫

# 2. 事　業　内　容

□ 事業所名及び代表者名
穴吹エンタープライズ株式会社
代表取締役　小　島　英　夫

□ 所在地
本社:香川県高松市福田町11番地1

□ 環境管理責任者及び環境管理事務局連絡先
・環境管理責任者:三村　和馬　(指定管理者事業部　事業部長)
電話:087-825-0556
・事務局連絡先:稲谷　敏　(施設・購買部　部長)
電話　087-831-1529

□ 事業の規模(全社)
総従業員数　400人(2012年7月末現在)
全社売上高　4,296百万円　(2011年7月～2012年6月)

□ エコアクション21の運用範囲について
当社、穴吹エンタープライズ株式会社は、以下の6つの事業部から構成されており、2012年度より全社で運用開始しております。

| NO. | 事　業　部　名 | 施設名 | 業務　内　容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 指定管理者事業部 | サンメッセ香川、アルファあなぶきホール、高松テルサ | 指定管理者制度に基づき、地方自治体より委託された公共施設の管理・運営、イベント運営の綜合プロデュースを行う。 |
| 2 | 津田事業部 | クアパーク津田、クアタラソさぬき津田、津田の松原サービスエリア、アルファ津田カントリークラブ(2013年認証取得予定) | スポーツ・健康増進施設・サービスエリア・ゴルフ場を運営する。 |
| 3 | ホテル事業部 | 高松国際ホテル、チサン　イン高松、ロイヤルパークホテル高松、琴平パークホテル、リーガホテルゼスト高松(2013年認証取得予定) | 宿泊施設・料飲施設を運営する。 |
| 4 | 管理本部(2013年認証取得予定) | 管理部、施設・購買部、新規事業開業準備室 | 人事や会社の資産等を管理し、各課の運営をサポートする。 |
| 5 | 倉敷事業部(2013年認証取得予定) | 旅館くらしき、倉敷珈琲館 | 宿泊施設・料飲施設の運営をする。 |
| 6 | 関連事業部(2013年認証取得予定) | ストアマネジメント課、フーズケア課、あなぶき家 | うどんレストラン、物販店舗運営及び通販展開、高齢者用施設への給食提供を行う。 |

2013年度には、会社全体での取得が完了できる予定です。

## ◆　各　施　設　紹　介

### ～指定管理者事業部～

### ●　サンメッセ香川

所在地　：香川県高松市林町2217-1
施設規模：延床面積　37,426㎡
開　　業：平成6年（1994年）
（平成17年4月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始）
　香川インテリジェントパーク内にある県内最大の総合コンベンション施設です。大小２つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。大規模なイベント、見本市、展示会から少人数の会議、勉強会まで幅広くご利用いただいております。

サンメッセ香川外観

### ●　アルファあなぶきホール（香川県県民ホール）

所在地　：香川県高松市玉藻町9-10
施設規模：延床面積　27,820㎡
開　　業：昭和63年（1988年）
（平成18年4月より、香川県の指定管理者として当社が業務開始）
　音楽、舞踊、演劇、講演会などあらゆる舞台芸術やイベントに対応できる大小２つのホールと各種練習室、会議室を備えた香川県の舞台芸術の拠点施設。国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議などに幅広くご利用いただいております。

アルファあなぶきホール外観

### ●　高松テルサ

所在地　：香川県高松市屋島西町 2366-1
施設規模：延床面積　11,467 ㎡
開　　業：平成 5 年（1993 年）
（平成 21 年 4 月より、高松市の指定管理者として当社が業務開始）
会議室、研修室、ホール等を有する多目的施設です。貸し館に加え、宿泊施設やトレーニングジムも併設しております。健康増進・文化教養のための自主企画事業を数多く実施。地域と一体化したテルサ音楽祭、勤労者美術展といったイベントなどにも広くご利用いただいております。

高松テルサ外観

### ～津田事業部～

### ●　クアパーク津田・クアタラソさぬき津田

#### ★クアパーク津田（国民宿舎松琴閣）

所在地　：香川県さぬき市津田町松原地内
施設規模：地下 1 階地上 3 階建、延床面積　2,422 ㎡。客室数：26 室
開　　業：昭和 37 年（1962 年）
（平成 8 年 11 月より㈱さぬき市ＳＡ公社から委託され弊社が業務開始。）
「津田の松原」の東端に位置し、瀬戸内海を望む砂浜に面した宿泊施設、会議室、研修室、ホール、入浴施設、レストラン等を有する多目的施設です。地域と一体となった運営をし、広くご利用いただいております。

クアパーク津田外観

#### ★クアタラソさぬき津田

所在地　：香川県さぬき市鶴羽24-2
施設規模：延床面積　1,885㎡
開　　業：平成5年（1993年）
（平成8年11月より㈱さぬき市ＳＡ公社から委託され弊社が業務開始。）
　温水プール、入浴施設、トレーニングジムを主体とした健康増進を目的とした地域密着型施設です。隣接のクアパーク津田と、連絡通路で結ばれており、一体的な利用が可能です。

クアタラソさぬき津田外観

## ● 津田の松原サービスエリア

所在地：香川県さぬき市鶴羽 935-5 及び　939-1

施設規模：　延床面積　2,248 ㎡

開　　業：平成 13 年（2001 年）

（平成 13 年４月より、（株）さぬき市ＳＡ公社から委託され弊社が業務開始）

日本の渚百選瀬戸内海「津田の松原」を眼下に望む『津田の松原ＳＡ』内で飲食物の提供と土産物の販売をしています。レストランでのお食事の他、本場讃岐うどん「あなぶき家」、お土産・売店では地域特産品を多数ご用意し、香川県外・県内のお客様のおもてなしをさせていただいております。

津田の松原SA外観

## ● アルファ津田カントリークラブ

所在地　：香川県さぬき市寒川町神前 647-16

施設規模：18 ホール・6,262 ヤード・パー72

創　　業：昭和 60 年（1985 年）9 月

開　　業：平成 17 年（2005 年）10 月

瀬戸内 VIEW が眼前に広がる、「津田コース No.1 ホール」からスタート。スポーツとしての純粋なゴルフを楽しめるコースをご用意しております。

アルファ津田カントリークラブ　外観

## ～ホテル事業部～

## ● 高松国際ホテル

所在地　：香川県高松市木太町 2191-1

施設規模：地上 5 階建、延床面積　3,340 坪、　客室数：101 室

創　　業：昭和 39 年（1964 年）10 月

開　　業：平成 13 年（2001 年）5 月

東京オリンピックが開かれた 1964 年(昭和 39 年)に創業した「高松国際ホテル」。以来、皇室をはじめとする多くの賓客をおもてなししてきた伝統と実績。優しく、あたたかなサービスでお客様をお出迎えいたします。

高松国際ホテル外観

## ● チサン イン高松

所在地　：香川県高松市福田町 11-1

施設規模：地上 9 階建、延床面積　889 坪、客室数：117 室

開　　業：昭和 63 年（1988 年）９月

(平成 22 年 3 月「ロイヤルパークホテル高松アネックス」から「チサン イン高松」としてリニューアルオープン。)

ロープライスと快適性をハイレベルに融合したホテル。高松の繁華街に位置し、充実のアメニティとファシリティ、全室に無料のインターネット回線を完備し、お客様の大切なくつろぎのひと時をご提供いたします。

チサン イン高松　外観

## ● ロイヤルパークホテル高松

所在地　：香川県高松市瓦町 1-13-1

施設規模：地下 1 階地上 9 階建、延床面積 1,396 坪、客室数：50 室

開　　業：平成元年（1989 年）２月

繁華街の中心・瓦町に位置するアールデコ調の気品漂う「ロイヤルパークホテル高松」安らぎの睡眠を提供する客室、落ち着いた和の空間で日本料理を提供する座敷割烹『錦』。さまざまなニーズにお応えする宴会場や会議室もご利用いただけます。

ロイヤルパークホテル高松　外観

## ● 琴平パークホテル

琴平パークホテル　外観

所在地　：香川県仲多度郡琴平町榎井 706-7

施設規模：地上 8 階建、延床面積 1,629 坪、客室数：88 室

開　　業：平成 17 年（2005 年）7 月

こんぴらさんの門前町の中で、数少ないビジネスタイプの「琴平パークホテル」。金比羅宮の参拝など観光目的のお客様、出張でお越しになるビジネスマンにとって、お財布にやさしいホテルです。一日の疲れを癒す展望浴場など、様々な寛ぎのおもてなしもご用意しております。

## ● リーガホテルゼスト高松

リーガホテルゼスト高松　外観

所在地：香川県高松市古新町 9-1

施設規模：地下 1 階地上 10 階建、延床面積 3,003 坪、客室数：122 室

創　　業：昭和 55 年（1980 年）7 月

開　　業：平成 24 年（2012 年）8 月

四国のゲートウェイである高松市の中心市街地に位置し、30 年以上地元の皆様に愛され続ける老舗ホテル。 ビジネスや観光、ショッピングなどさまざまな用途にアクセスに至便なホテルです。レストランでは地元農家や漁師から直接仕入れる新鮮な素材を中心に、高松らしい美食をご用意。

老舗ならではの伝統と実績、経験に培われたホスピタリティで、お客様をおもてなしいたします。

# ～倉敷事業部～

## ● 旅館　くらしき

旅館くらしき　外観

所在地　：岡山県倉敷市本町 4-1

施設規模：木造２階建て

創　　業：昭和 32 年（1957 年）

開　　業：平成 18 年（2006 年）7 月

倉敷美観地区の中心部に位置し、陽前の庭、伝統建築の静かな佇まいに癒される料理旅館。先代が手塩にかけ、倉敷隋一の伝統と格式を持って育て上げた名宿です。古くは江戸末期に遡る道具蔵などを改装したゲストルーム、宴会用お座敷、レストランを併設し、国内外のお客様をお迎えしています。

## ● 倉敷珈琲館

倉敷珈琲館外観

所在地：岡山県倉敷市本町 4-1

施設規模：　木造２階建　30 席

創業：昭和 46 年（1971 年）4 月

開業：平成 18 年（2006 年）7 月

白壁の町、倉敷美観地区の一角にある焙煎珈琲（コーヒー）専門店です。1971 年の開店より、厳選して仕入れた豆をひとつひとつさらに選り分け、 培った焙煎技術とネルドリップをかたくなに守り、ひたすら美味しいコーヒーを求めつづけてまいります。

## ～関連事業部～

### ● ストアマネジメント課

「豆吉本舗こんぴら店」を始め、津田の松原サービスエリア内に豆菓子専門店を展開するとともに、「あなぶき家」のうどん商品、「あなぶきホテルズ」オリジナル製品の販売を行っております。

豆吉本舗こんぴら店　外観

### ● フーズケア課

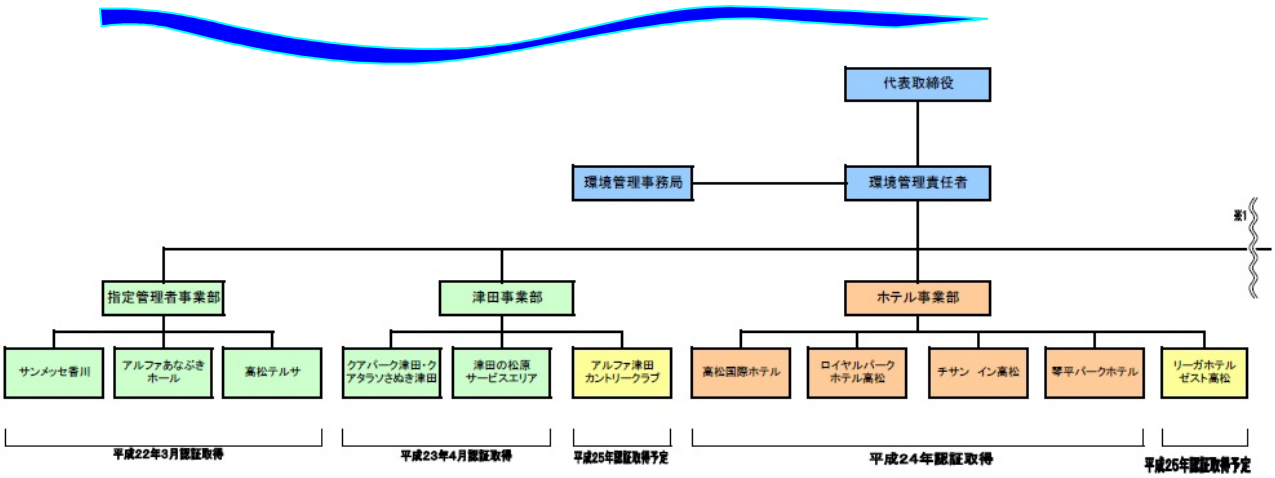
サービス付き高齢者用住宅、住宅型有料老人ホームへの食事供給業務を受託し、安全安心な食生活の提供をさせていただいております。

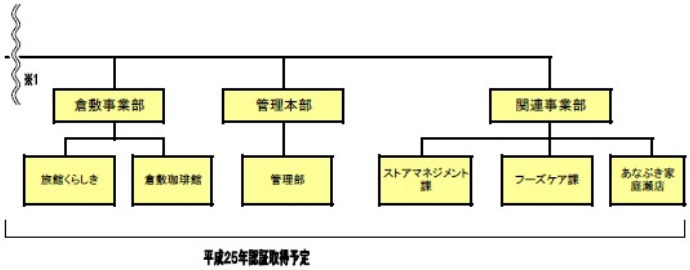
あなぶき家庭瀬店　外観

### ● あなぶき家庭瀬店

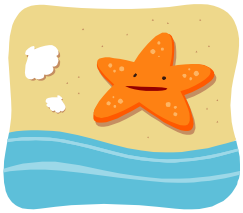
津田の松原サービスエリア内で運営するセルフうどん店「あなぶき家」の郊外型店舗一号店として、岡山市庭瀬にて本場のさぬきうどんを提供させていただいております。

# 3．エコアクション21推進体制組織図




穴吹エンタープライズ（株）
エコアクション21推進体制組織図
（平成25年３月現在）



# 4. 全社中長期目標

## ◆ 全 社 中 長 期 目 標 ◆

平成23年度を基準年度とした3ヵ年計画を下表の通り設定いたしました。今年度より全社での取り組みとなります。今後の実績を基に必要に応じて見直しを実施致します。

| 環境目標項目 | | 平成 23 年度実績（基準年度） | 平成 24 年度目標値 | 平成 25 年度目標値 | 平成26年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 目 標 値（基準年度比） | | | 1.5 % 減 | 3.0 % 減 | 4.5 % 減 |
| 1.省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減 | $CO_2$排出量 | 3.648 (kg－$CO_2$)/人 | 3.594 (kg－$CO_2$)/人 | 3.538 (kg－$CO_2$)/人 | 3.483 (kg－$CO_2$)/人 |
| 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般事業系） | 廃棄物排出量 | 46.1 （g/人） | 45.41（g/人） | 44.71（g/人） | 44.02（g/人） |
| | 発生量 | 69.00（g/人） | － | － | － |
| | リサイクル量 | 22.92（g/人） | － | － | － |
| | リサイクル率 | 33.21% | 34.71（%） | 36.21（%） | 37.71（%） |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 発生量 | 33.65 （g/人） | － | － | － |
| | リサイクル量 | 14.24 （g/人） | － | － | － |
| | リサイクル率 | 42.31% | 44.31% | 46.31% | 48.31% |
| 4.節水による総排水量削減 | 排水量 | 60.726（L/人） | 59.815（L/人） | 58.904（L/人） | 57.993（L/人） |
| 5.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用 | 白熱灯電球更新時の LED 使用率 80%以上 | | | |
| | 文房具 | 全購入品目において、エコマーク製品購入割合 75%以上 | | | |
| | 設備機器・厨房機器等 | 更新時の高効率機器の採用 100% | | | |
| 6.エコ検定合格（受検)に よる環境意識の向上 | 合格者数 | 平成 23 年度末 | 平成 24 年度末 | 平成 25 年度末 | 平成 26 年度末 |
| | | 48 名 | 75 名 | 100 名 | 125 名 |
| 7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。<br>お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施。 | | | | |

※購入電力の二酸化炭素排出係数：0.407（kg－$CO_2$）/KW（四国電力）

■ 全社中長期目標の達成に向けて、展開する主要な活動内容は、以下の通りです。
各施設において具体的活動計画を策定し、『環境目標の達成に向けて全力を挙げて取り組みます。』

| 環境目標 | 活動計画（実施項目） |
|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減 | ① 省エネルギー対策の推進<br>② 高効率機器等への更新の促進 |
| 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 | ① 3R（発生抑制、再使用、再資源化）を推進 |
| 3.食品リサイクル率の向上 | ① 食品廃棄物の発生抑制、減量化の推進<br>② 食品廃棄物の分別を徹底し、再生利用の推進 |
| 4.節水による総排水量 削減 | ① 適正水量調整による使用水量の削減<br>② 水使用場所での節水の呼び掛け徹底 |
| 5.グリーン購入の実施 | ① エコマーク製品の購入量の拡大 |
| 6.エコ検定合格（受検)による環境意識の向上 | ① 全スタッフのエコ意識を高めるため、計画的に受検を奨励し、意識向上を図ります。 |
| 7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発 | ① 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施<br>② お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施 |

# 5.今年度の環境目標と活動計画・実績

● 全社実績集計 ●

| 穴吹エンタープライズ㈱ 全 社 集 計 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境目標 項 目 | 実績評価（原単位：利用者人数1人当り） | | | | | 昨年度との実績比較 | | |
| | ①目標値 | ②実績値 | ③.評価（②−①） | 項 目 | | 単位 | 2011年実績（A） | 2012年実績（B） | 対前年度増減（B)−(A） |
| | | | | 利用者人数 | | 人 | 3,367,309 | 3,486,207 | 118,898 |
| ①省エネルギー化推進による CO2排出量削減 | 3.593 | 3.430 | clear! (0.163) | $CO_2$排出量 | | kg−$CO_2$ | 12,282,434 | 11,956,857 | (325,577) |
| | (kg−CO2)/利用者数 | | | 使用実績内訳 | 電気 | kwh | 14,913,126 | 14,532,230 | (380,896) |
| | | | | | 灯油 | ℓ | 1,675 | 1,554 | (121) |
| | | | | | A重油 | ℓ | 162,825 | 36,824 | (126,001) |
| | | | | | 都市ガス | Nm3 | 754,338 | 772,091 | 17,753 |
| | | | | | プロパンガス | kg | 126,155 | 223,118 | 96,963 |
| | | | | | ガソリン | ℓ | 34,069 | 34,212 | 143.0 |
| | | | | | 軽油 | ℓ | 12,820 | 13,267 | 447.0 |
| ②廃棄物排出量削減 | 45.4 | 46.8 | 1.4 | 廃棄物排出量 (a)−(b) | | t | 155.187 | 163.216 | 8.029 |
| | g /利用者数 | | | 廃棄物量内訳 | 廃棄物発生量 (a) | t | 232.348 | 242.013 | 9.665 |
| | | | | | リサイクル量 (b) | t | 77.161 | 78.797 | 1.636 |
| | | | | | リサイクル率 (b)÷(a) | % | 33.21% | 32.56% | −0.65% |
| ③食品リサイクル率の向上 | 51.10% | 33.12% | (達成率) 64.82% | 食品廃棄物発生量 (c) | | t | 113.313 | 167.881 | 54.568 |
| | | | | 食品リサイクル量 (d) | | t | 47.948 | 55.610 | 7.662 |
| | | | | リサイクル率 (d)÷(c) | | t | 42.31% | 33.12% | −9.19% |
| ④節水による総排水量削減 | 59.815 | 59.233 | clear! (0.582) | 総排水量 | | $m^3$ | 204,484 | 206,499 | 2015.0 |
| | L /利用者人数 | | | | | | | | |
| ⑤グリーン購入の推進 | ① LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入<br>③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施 | | | | | | | | |
| ⑥エコ検定 合格による環境意識の向上 | 対象従業員数 | | | 前期まで合格者数 | | | 7月合格者 | 12月合格者 | 累計合格者数 |
| | 250 | | 名 | 48 | | | 13 | 14 | 75 |
| | 社内有資格者比率 | | | 19.2% | | | 5.2% | 5.6% | 30.0% |
| ⑦スタッフ・ お客様への啓発活動 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。<br>お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 | | | | | | | | |

※$CO_2$排出係数について、全施設での係数を0．407kg−$CO_2$/kwとします。

## 【各施設共通目標について】

☆スタッフの環境知識・意識の向上を目的としたエコ検定合格（受検）
☆環境配慮意識をスタッフやお客様にご理解いただくための啓発活動

弊社では4年前の取組開始以降、順次取組範囲を拡大し、昨年6月には更新審査を受審、今年度より、全社でエコアクション21に取組む事になりました。

経営計画や方針管理の中で、全施設でのEA21の導入を目指すことを掲げ、継続的なエコ活動に取組むことで、社内での環境への意識も高くなりつつあります。

全施設で取組んでいる『環境社会検定（エコ検定）』受検も、スタッフへの意識向上を目的とした活動の1つです。現在エコ検定合格者(エコピープル)は75名で対象社員数の3割強です。全スタッフの合格を目指し、

今後も継続して取り組みを進めます。また、エコピープルを核とした環境負荷削減への取り組みを推進し、環境活動のボトムアップを図ってまいります。

又、お客様に満足していただける安全で快適な環境を提供できるよう、施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供に努めます。それと共に、お客様のご理解・ご協力を得られるよう努め、エコ活動の輪を広げてまいります。　　（※エコアクションを文中ではEA21と表記します。）

## 【今年度の各施設の活動概要について】

今年度は、ホテル事業部でリーガホテルゼスト高松が、津田事業部でアルファ津田CCが加わり、新たに倉敷事業部、管理本部及び関連事業部が新規運用を開始し、全社にてEA21に取組む事になりました。

全体の活動としては、各課でのミーティングや啓発活動を重ねることで、具体的な活動へと結びつき、効果的な運用が出きるようになって来たと考えています。

昨年6月より地域事務局を岡山から高松に変更致しました。『地域事務局　高松』による更新審査では、各施設において継続的に活動ができているのが確認されており、各施設でお客様や関係業者様にご協力をいただきながら、それぞれの施設に合った活動を続けています。

また、今期より適用ガイドラインを『食品事業者向け』としており、食品リサイクルに力を入れて取り組んで来ましたが、残念な結果となってしまいました。更なる取組が必要と認識を新たに致しました。

新規参加の管理本部関連部門については、施設を運営していないので、社員への周知や教育を主体として意識向上を大きな目標として取組んで来ました。

平成24年4月には高松市より、『エコシティたかまつ』優良事業者として、表彰をしていただきました。
これまでの弊社のエコ活動への取り組みを評価していただいた賞であり、これからも、地道に活動を継続し、地域社会に生かされ生きる、模範となる企業をめざして努力致します。

## 【今年度の活動実績と評価】

今年度から、弊社の全施設が活動に参加する事になり、会社全体の活動実績がご報告できるようになりました。全社、各事業部別、各施設別にデータ集計を実施し、組織単位の評価を実施する事により各施設、事業部の特性を把握し、今後の運用に反映させて行きたいと考えています。

今期の全社の評価としては、省エネ推進、総排水量削減については、目標達成が出来ておりますが、廃棄物排出量については一般廃棄物リサイクル率が若干悪化、食品リサイクル率も大きく悪化しています。

食品リサイクルの悪化要因として、分別の不徹底が報告されております。啓発活動として取組んでいるエコピープルの養成は累計75名となり着実に増加しておりますが、まだまだ環境意識が浸透していない現状がこの結果に繋がっていると考察しています。

グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入、LED照明の採用を重点的に実施して来ました。又、一部施設において高効率設備機器の導入し、$CO_2$排出抑制に努めて来ました。

今期活動の総合評価としては、概ね目標を達成出来たと考えております。省エネ、節水、グリーン購入等については積極的な活動が出来ていると思います。今後も継続してまいります。又、エコピープルを核とした環境活動を推進し、食品を含めた廃棄物の分別管理を徹底し、食品リサイクル率の向上、廃棄物排出量の削減に努めて行きたいと考えております。

● 指定管理者事業部 ●

| 事業部名：指定管理者事業部 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境目標項目 | 実績評価（原単位：利用者人数1人当り） | | | | | 昨年度との実績比較 | | |
| | ①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 項目 | 単位 | 2011年実績（A） | 2012年実績（B） | 対前年度増減（B)-(A） |
| | | | | 利用者人数 | 人 | 1,373,350 | 1,429,532 | 56,182 |
| ①省エネルギー化推進による CO2排出量削減 | 2.073 | 2.020 | clear! (0.053) | $CO_2$排出量 | kg-$CO_2$ | 2,890,033 | 2,887,918 | (2,115) |
| | (kg-CO2)/利用者数 | | | 使用実績内訳 電気 | kwh | 5,556,127 | 5,531,294 | (24,833) |
| | | | | 灯油 | ℓ | | | |
| | | | | A重油 | ℓ | 550 | 294 | (256) |
| | | | | 都市ガス | Nm3 | 272,973 | 276,803 | 3,830 |
| | | | | プロパンガス | kg | | | |
| | | | | ガソリン | ℓ | 352 | 313 | (39) |
| | | | | 軽油 | ℓ | 115 | 112 | (3) |
| ②廃棄物排出量削減 | 30.9 | 36.4 | 5.5 | 廃棄物排出量 (a)-(b) | t | 43.030 | 52.083 | 9.053 |
| | g /利用者数 | | | 廃棄物量内訳 廃棄物発生量 (a) | t | 55.201 | 66.719 | 11.518 |
| | | | | リサイクル量 (b) | t | 12.171 | 14.636 | 2.465 |
| | | | | リサイクル率 (b)÷(a) | % | 22.05% | 21.94% | -0.11% |
| ③食品リサイクル率の向上 | 96.00% | 93.11% | （達成率） 96.99% | 食品廃棄物発生量 (c) | t | 4.603 | 3.655 | (0.948) |
| | | | | 食品リサイクル量 (d) | t | 4.374 | 3.403 | (0.971) |
| | | | | リサイクル率 (d)÷(c) | t | 95.02% | 93.11% | -1.92% |
| ④節水による総排水量削減 | 19.42 | 18.234 | clear! (1.186) | 総排水量 | $m^3$ | 27,076 | 26,066 | (1010.0) |
| | L /利用者人数 | | | | | | | |
| ⑤グリーン購入の推進 | ① LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施 | | | | | | | |
| ⑥エコ検定 合格による環境意識の向上 | 対象従業員数 | | | 前期まで合格者数 | 7月合格者 | 12月合格者 | 累計合格者数 | |
| | 45 | | 名 | 35 | 3 | 3 | 41 | |
| | 社内有資格者比率 | | | 77.8% | 6.7% | 6.7% | 91.1% | |
| ⑦スタッフ・お客様への啓発活動 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 | | | | | | | |

※$CO_2$排出係数について、全施設での係数を0．407kg－$CO_2$/kwとします。

## 【今年度の活動実績と評価】

EA21導入後4年を経過し、各施設共に良好に管理出来ています。社員の9割超がエコピープルであり、各施設スタッフの環境意識の高さが伺えます。公の施設として行えるエコ活動を常に念頭に置き、毎月行われる事業部内のEA担当者会議で各館の取組みや問題点の情報共有ができています。また、事業部としての食品リサイクル工場見学といった、担当者レベルの向上にも努めています。

しかしながら、今期は廃棄物排出量の削減について目標が達成できておらず、一般廃棄物リサイクル率も若干悪化しています。エコピープルの皆さんが中心となって日々の活動をして来た結果としては残念な事です。PDCAサイクルを回し、原因究明と再発防止策の実行が必要と考えます。

省エネ推進、総排水量削減については、目標達成が出来ていて、又、グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入や、各施設の施設所有者に対しての省エネ提案等もなされており、事業部全体としては、概ね良好な運用がされていると判断しています。

● 津田事業部 ●

| 事業部名： 津田事業部 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境目標 項目 | 実績評価（原単位：利用者人数1人当り） | | | | | 昨年度との実績比較 | | |
| | ①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 項目 | 単位 | 2011年実績（A） | 2012年実績（B） | 対前年度増減（B)-(A） |
| | | | | 利用者人数 | 人 | 1,311,047 | 1,319,411 | 8,364 |
| ①省エネルギー化推進による CO2排出量削減 | 1.522 | 1.492 | clear! (0.030) | $CO_2$排出量 | kg-$CO_2$ | 2,025,292 | 1,968,534 | (56,758) |
| | (kg-CO2)/利用者数 | | | 使用実績内訳 電気 | kwh | 2,865,276 | 2,791,144 | (74,132) |
| | | | | 灯油 | ℓ | 1,135 | 954 | (181) |
| | | | | A重油 | ℓ | 144,069 | 36,530 | (107,539) |
| | | | | 都市ガス | Nm3 | | | |
| | | | | プロパンガス | kg | 126,155 | 213,242 | 87,087 |
| | | | | ガソリン | ℓ | 28,514 | 29,449 | 935 |
| | | | | 軽油 | ℓ | 8,006 | 8,636 | 630 |
| ②廃棄物排出量削減 | 32.1 | 26.4 | clear! (5.7) | 廃棄物排出量 (a)-(b) | t | 42.730 | 34.854 | (7.876) |
| | g /利用者数 | | | 廃棄物量内訳 廃棄物発生量 (a) | t | 87.100 | 75.133 | (11.967) |
| | | | | リサイクル量 (b) | t | 44.370 | 40.279 | (4.091) |
| | | | | リサイクル率 (b)÷(a) | % | 50.94% | 53.61% | 2.67% |
| ③食品リサイクル率の向上 | 51.10% | 20.71% | （達成率） 40.53% | 食品廃棄物発生量 (c) | t | 55.529 | 58.719 | 3.190 |
| | | | | 食品リサイクル量 (d) | t | 25.398 | 12.159 | (13.239) |
| | | | | リサイクル率 (d)÷(c) | t | 45.74% | 20.71% | -25.03% |
| ④節水による総排水量削減 | 49.051 | 50.718 | 1.667 | 総排水量 | $m^3$ | 65,287 | 66,918 | 1,631 |
| | L /利用者人数 | | | | | | | |
| ⑤グリーン購入の推進 | ① LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施 | | | | | | | |
| ⑥エコ検定 合格による環境意識の向上 | 対象従業員数 | | | 前期まで合格者数 | 7月合格者 | 12月合格者 | 累計合格者数 | |
| | 36 | | 名 | 4 | 0 | 2 | 6 | |
| | 社内有資格者比率 | | | 11.1% | 0.0% | 5.6% | 16.7% | |
| ⑦スタッフ・お客様への啓発活動 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。 お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 | | | | | | | |

※$CO_2$排出係数について、全施設での係数を0．407kg－$CO_2$/kwとします。

## 【今年度の活動実績と評価】

今年度から、アルファ津田CCが参加する事になりました。津田事業部は高速道路のサービスエリアが有り、利用者数の85％前後を占めております。各施設の利用者数と環境負荷のバランスが悪く、単純に原単位の増減での判断は難しいと判断しております。しかしながら、対前年度の数量比較においても削減が出来ており、省エネ推進、総排水量削減については、目標達成が出来ていると判断しています。

食品リサイクルの悪化要因として、分別の不徹底が報告されています。啓発活動として取組んでいるエコピープルの養成が残念ながら、進んでおらず、ボトムアップの必要性を感じています。まだまだ環境意識が浸透していない現状がこの結果に繋がっていると考察しています。

グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入、LED照明の採用を重点的に実施して来ました。又、クアタラソにおいては、ボイラー燃料の重油-ガス転換を実施し、$CO_2$の削減に貢献しています。

● ホテル事業部 ●

| 事業部名：ホテル事業部 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境目標項目 | 実績評価（原単位：利用者人数1人当り） | | | | | 昨年度との実績比較 | | |
| | ①目標値 | ②実績値 | ③.評価（②-①） | 項目 | 単位 | 2011年実績（A） | 2012年実績（B） | 対前年度増減（B)-(A） |
| | | | | 利用者人数 | 人 | 542,593 | 510,522 | (32,071) |
| ①省エネルギー化推進による CO2排出量削減 | 6.466 | 6.659 | 0.193 | $CO_2$排出量 | kg-$CO_2$ | 3,561,719 | 3,399,381 | (162,338) |
| | (kg-CO2)/利用者数 | | | 使用実績内訳 電気 | kwh | 6,118,177 | 5,765,609 | (352,568) |
| | | | | 灯油 | ℓ | | | |
| | | | | A重油 | ℓ | 18,206 | 0 | (18,206) |
| | | | | 都市ガス | Nm3 | 435,405 | 449,699 | 14,294 |
| | | | | プロパンガス | kg | | | |
| | | | | ガソリン | ℓ | 4,880 | 4,095 | (785.0) |
| | | | | 軽油 | ℓ | 4,699 | 4,519 | (180.0) |
| ②廃棄物排出量削減 | 122.9 | 142.2 | 19.337 | 廃棄物排出量 (a)-(b) | t | 67.686 | 72.615 | 4.929 |
| | g /利用者数 | | | 廃棄物量内訳 廃棄物発生量（a） | t | 87.982 | 94.490 | 6.508 |
| | | | | リサイクル量（b） | t | 20.296 | 21.875 | 1.579 |
| | | | | リサイクル率 (b)÷(a) | % | 23.07% | 23.15% | 0.08% |
| ③食品リサイクル率の向上 | 51.10% | 55.02% | （達成率）107.67% clear! | 食品廃棄物発生量（c） | t | 33.561 | 68.634 | 35.073 |
| | | | | 食品リサイクル量（d） | t | 16.066 | 37.765 | 21.699 |
| | | | | リサイクル率 (d)÷(c) | t | 47.87% | 55.02% | 7.15% |
| ④節水による総排水量削減 | 173.367 | 185.463 | 12.096 | 総排水量 | $m^3$ | 95,500 | 94,683 | (817.0) |
| | L /利用者人数 | | | | | | | |
| ⑤グリーン購入の推進 | ① LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施 | | | | | | | |
| ⑥エコ検定 合格による環境意識の向上 | 対象従業員数 | | | 前期まで合格者数 | | 7月合格者 | 12月合格者 | 累計合格者数 |
| | 129 | | 名 | 3 | | 8 | 6 | 17 |
| | 社内有資格者比率 | | | 2.3% | | 6.2% | 4.7% | 13.2% |
| ⑦スタッフ・お客様への啓発活動 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 | | | | | | | |

※$CO_2$排出係数について、全施設での係数を0．407kg－$CO_2$/kwとします。

## 【今年度の活動実績と評価】

今年度中途から、宿泊及レストラン、宴会場を有し、高松国際ホテルと同規模の床面積を持つリーガホテルゼスト高松が参加する事になりました。今期は全体利用者数の減も有ったが、$CO_2$排出量の総量については目標達成出来、原単位換算では未達成という結果になりました。ホテル事業部全体で省エネ活動が積極的に実施された結果が、電力使用量の削減に繋がり、$CO_2$が削減出来たと考えています。

廃棄物排出量削減の悪化要因として、ホテル事業部でも分別の不徹底が報告されております。残念ながら、昨年度に比較して多量の廃棄物が計上された施設も有り、廃棄物管理手順の根本的問題も懸念されます。施設全体のモラルアップの核となるエコピープルは順調に増加しており、今後のボトムアップに期待したいと思います。

グリーン購入については、文房具等の非消耗品の購入、LED照明の採用を重点的に実施して来ました。又、国際ホテルではマイクロコジェネシステムを導入し、$CO_2$の削減に貢献しております。食品廃棄物の多量排出場所であるホテル事業部の食品リサイクル率は目標を達成出来ており、全体評価としては妥当な結果だと考えています。

● 倉敷事業部 ●

| 事業部名： 倉敷事業部 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境目標項目 | 実績評価（原単位：利用者人数1人当り） | | | | | 昨年度との実績比較 | | |
| | ①目標値 | ②実績値 | ③.評価（②-①） | 項目 | 単位 | 2011年実績（A） | 2012年実績（B） | 対前年度増減（B)-(A) |
| | | | | 利用者人数 | 人 | 73,122 | 135,557 | 62,435 |
| ①省エネルギー化推進による CO2排出量削減 | 3.282 | 2.225 | clear! (1.057) | $CO_2$排出量 | kg-$CO_2$ | 243,671 | 301,643 | 57,972 |
| | (kg-CO2)/利用者数 | | | 使用実績内訳 電気 | kwh | 336,396 | 407,713 | 71,317 |
| | | | | 灯油 | ℓ | 540 | 600 | |
| | | | | A重油 | ℓ | | | 0 |
| | | | | 都市ガス | Nm3 | 45,960 | 45,589 | (371) |
| | | | | プロパンガス | kg | | 9,876 | |
| | | | | ガソリン | ℓ | | | 0 |
| | | | | 軽油 | ℓ | | | 0 |
| ②廃棄物排出量削減 | 18.3 | 20.4 | 2.1 | 廃棄物排出量 (a)-(b) | t | 1.360 | 2.767 | 1.407 |
| | g /利用者数 | | | 廃棄物量内訳 廃棄物発生量（a） | t | 1.360 | 4.369 | 3.009 |
| | | | | リサイクル量（b） | t | 0.000 | 1.602 | 1.602 |
| | | | | リサイクル率 (b)÷(a) | % | 0.00% | 36.67% | 36.67% |
| ③食品リサイクル率の向上 | 15.00% | 6.19% | （達成率） 41.27% | 食品廃棄物発生量（c） | t | 19.620 | 36.873 | 17.253 |
| | | | | 食品リサイクル量（d） | t | 2.110 | 2.283 | 0.173 |
| | | | | リサイクル率 (d)÷(c) | t | 10.75% | 6.19% | -4.56% |
| ④節水による総排水量削減 | 223.087 | 138.385 | clear! (84.702) | 総排水量 | $m^3$ | 16,561 | 18,759 | 2198.0 |
| | L /利用者人数 | | | | | | | |
| ⑤グリーン購入の推進 | ① LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入<br>③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施 | | | | | | | |
| ⑥エコ検定 合格による環境意識の向上 | 対象従業員数 | | | 前期まで合格者数 | | 7月合格者 | 12月合格者 | 累計合格者数 |
| | 12 | | 名 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | 社内有資格者比率 | | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| ⑦スタッフ・お客様への啓発活動 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。<br>お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 | | | | | | | |

※$CO_2$排出係数について、全施設での係数を0．407kg－$CO_2$/kwとします。

## 【今年度の活動実績と評価】

今年度から参加した倉敷事業部は、倉敷美観地区内の旅館、珈琲専門店、及び昨年5月に開業した近郊のうどん店舗のデータを集計しております。

上表のとおり、$CO_2$排出量、総排水量については、前年度のデータも有り、うどん店舗の参加も考慮すると、概ね良好な状態と判断しています。しかしながら、廃棄物については過去データも無く、現状での判断は難しく、今後のデータを含めて、分析し、目標の見直し等実施し、管理精度を向上させるべく努めます。

又、残念ながら、エコピープルが一人もおらず、まずは、社員の環境意識の向上を目指して、受験指導等、計画的な取組が必要と考えています。

● 関連事業部・管理本部 ●

| 事業部名： 関連事業部・管理本部 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境目標項目 | 実績評価（原単位：利用者人数1人当り） | | | | | 昨年度との実績比較 | | |
| | ①目標値 | ②実績値 | ③評価（②−①） | 項目 | 単位 | 2011年実績（A） | 2012年実績（B） | 対前年度増減（B)−(A） |
| | | | | 利用者人数 | 人 | 67,197 | 91,185 | 23,988 |
| ①省エネルギー化推進による CO2排出量削減 | 52.209 | 37.280 | clear! (14.929) | $CO_2$排出量 | kg−$CO_2$ | 3,561,719 | 3,399,381 | (162,338) |
| | (kg−CO2)/利用者数 | | | 使用実績内訳 電気 | kwh | 37,150 | 36,470 | (680) |
| | | | | 灯油 | ℓ | | | |
| | | | | A重油 | ℓ | | | 0 |
| | | | | 都市ガス | Nm3 | | | 0 |
| | | | | プロパンガス | kg | | | |
| | | | | ガソリン | ℓ | 323 | 355 | 32 |
| | | | | 軽油 | ℓ | | | 0 |
| ②廃棄物排出量削減 | 5.6 | 9.8 | 4.2 | 廃棄物排出量 (a)−(b) | t | 0.381 | 0.897 | 0.516 |
| | g /利用者数 | | | 廃棄物量内訳 廃棄物発生量 (a) | t | 0.705 | 1.302 | 0.597 |
| | | | | リサイクル量 (b) | t | 0.324 | 0.405 | 0.081 |
| | | | | リサイクル率 (b)÷(a) | % | 45.96% | 31.11% | −14.85% |
| ③食品リサイクル率の向上 | | | | 食品廃棄物発生量 (c) | t | | | |
| | | | | 食品リサイクル量 (d) | t | | | |
| | | | | リサイクル率 (d)÷(c) | t | | | |
| ④節水による総排水量削減 | 0.88 | 0.801 | clear! (0.079) | 総排水量 | $m^3$ | 60 | 73 | 13.0 |
| | L /利用者人数 | | | | | | | |
| ⑤グリーン購入の推進 | ① LED電球への更新（共用部を優先的実施） ②文房具等のエコマーク製品の購入 ③設備機器等の高効率機器への更新提案の実施 | | | | | | | |
| ⑥エコ検定 合格による環境意識の向上 | 対象従業員数 | | | 前期まで合格者数 | | 7月合格者 | 12月合格者 | 累計合格者数 |
| | 28 | | 名 | 6 | | 2 | 3 | 11 |
| | 社内有資格者比率 | | | 21.4% | | 3.0% | 10.7% | 39.3% |
| ⑦スタッフ・お客様への啓発活動 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示などによる啓発活動の推進。<br>お客様への掲示物などによる活動への理解促進・ご協力要請の推進。 | | | | | | | |

※$CO_2$排出係数について、全施設での係数を0．407kg−$CO_2$/kwとします。

## 【今年度の活動実績と評価】

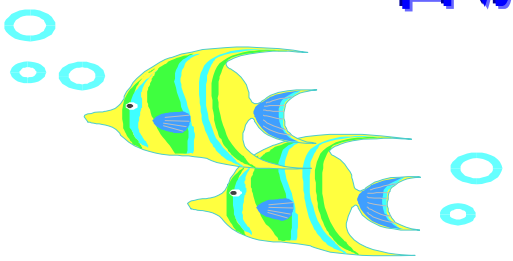
関連事業部は、物販を中心とするストアマネジメント課と、住宅型有料老人ホームの施設をお借りして給食事業を行うフーズケア課からなっております。管理本部とともに、小規模の物販店舗や事務所から発生する環境負荷を対象として取組んでおります。

管理本部及びストアマネジメント課は、事務作業が中心で有り、各社員のモラルアップの為の教育を主体として取組んで来ました。日常のミーティング内にて、エコ活動について理解を深めて来ました。

又、フーズケア課の調理スタッフについては、食品リサイクルやエコ活動の重要性について理解を深めるべく日頃努めています。数値的な評価が難しい部門ですが、上記の通り、エコピープルも順調に増加しております。

良好な運営が出来ていると評価しています。

# 6.各施設活動報告



●指定管理者事業部　①サンメッセ香川
②アルファあなぶきホール
③高松テルサ

●津田事業部　①クアパーク津田＆クアタラソさぬき津田
②津田の松原サービスエリア
③アルファ津田カントリークラブ

●ホテル事業部　①高松国際ホテル
②チサン　イン高松
③ロイヤルパークホテル高松
④琴平パークホテル
⑤リーガホテルゼスト高松

**●倉敷事業部**　①旅館くらしき・倉敷珈琲館

**●関連事業部・管理本部**　①ストアマネジメント課・フーズケア課
②管理本部

**各施設での1年間（平成23年4月～平成24年3月）の活動をレポートにまとめました。**

**施設ごとに、個性のある取組みをしています。ぜひご覧ください。**

※期間途中にエコアクションを導入した施設もあります。

# 6-1 サンメッセ香川

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 1.172 | 1.229 | 0.057 | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 705,879(kg－$CO_2$) | 709,156(kg－$CO_2$) | 3,277(kg－$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 1,135,474(kwh) | 1,132,021(kwh) | clear!▲3,453(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 106,201($m^3$) | 108,285($m^3$) | 2,084($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 62 | 56 | ▲6 clear! | 排出量((a)-(b))(t) | 36.450(t) | 32.500(t) | clear! ▲3.950(t) |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | 43.820(t) | 39.800(t) | ▲4.020(t) |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | 7.370(t) | 7.300(t) | ▲0.070(t) |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 95.1% | － | － | 総発生量(t) | 0.914(t) | － | － |
| | | | | リサイクル量(t) | 0.870(t) | － | － |
| 4.節水による総排水量削減 | 7.9(ℓ)/人 | 8.2(ℓ)/人 | 0.3(ℓ)/人 | 総排水量($m^3$) | 4,326($m^3$) | 4,746($m^3$) | 420($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 3 名 | 3 名 | 100% clear! | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフへの定期教育・勉強会の開催<br>・館内各所の表示によるご協力依頼の実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | 文房具類 ：エコマーク付き商品の購入を促進<br>施設敷地内の植栽実施 | | | | | | |

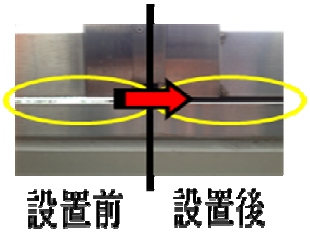
※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　　※ 2012年度より、食品の取扱いはありません。

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

☆ 展示会場の気密性を高めるため出入り口のドアへ隙間テープを設置しました。また、エスカレータ動力削減の為に、階段使用の啓発POPを設置し利用者のご協力を御願い致しました。しかしながら、夏場の猛暑や冬季の厳冬に伴い空調利用が増えたことにより排出量が増える結果となりました。

☆ 管理事務室内の夏季の温度設定を28℃に設定し暑さを紛らわすため、風鈴をエアコンの吹出し口に取り付けました。事務室内に入って来られたお客様には良い評価をいただきました。




**《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》**

☆ 館内におけるゴミの分別はお客様へカード･掲示物等で 昨年に引き続き呼びかけを行っています。

☆ 2010年7月よりエコキャップ運動の取り組みを開始し定期的にエコキャップ推進協会様に送っています。
【今期寄付:15,811個(累計:28,379個)　CO2削減量:121.2kg(累計:220.2kg)】

**《 食品リサイクル率の向上について 》**

☆ 今期より、レストランのテナント化により食品廃棄物が無くなりました。

**《 節水による総排出量削減について 》**

☆ 施設内の蛇口の節水コマ設置や、トイレの流水圧も可能な限り下げてはいますが、共用部の水の使用量が目標値を上回ってしまいました。施設点検も定期的に実施しており、適宜、修繕等も実施していますが、目標を達成出来ませんでした。節水の取組課題として、共用部の水使用について施設管理会社と協力して対応したいと考えています。

サツキ補植状況

**《 グリーン購入の実施について 》**

☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めました。

**《 その他の取組について 》**

☆ 2013 年 4 月開催の自主事業「トリックアート展」にて、公共交通機関利用促進チケットを企画販売しています。

☆ 施設緑地化を図るため「サツキ」や「カンツバキ」をはじめ 8 種類の 植栽を 1,446 本補植しました。

カンツバキ補植状況

**【 次年度の取組内容について 】**

☆ 毎朝の朝礼時にその日一日のエコ活動の取り組みを発表し、全員が実践できるように努めます。

☆ 月に 1 度部門内での会議と事業部全体の会議を実施し各事業所を含めた取り組み内容の共有化を図っています。

☆ 各種環境関連展示会等に積極的に参加し、エコ対策知識の向上並びに、商品情報を入手し、効果的な導入に努めます。　以上

# 6-2 アルファあなぶきホール

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 3.124 | 2.772 | ▲0.352 clear! | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 1,356,941(kg－$CO_2$) | 1,347,405(kg－$CO_2$) clear! | ▲9,536(kg－$CO_2$) clear! |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 2,933,396(kwh) | 2,916,108(kwh) | ▲17,288(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 71,090($m^3$) | 70,000($m^3$) | clear! ▲1,090($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 32.5 | 31.0 | ▲1.5 clear! | 排出量((a)-(b))(t) | 16.580(t) | 14.949(t) | 1.630(t) |
| | | | | 廃棄物発生量(a)(t) | 22.830(t) | 18.840(t) | clear! ▲3.990(t) |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | 6.250(t) | 3.891(t) | ▲2.359(t) |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 51.1% | 89.7% | 175.5% clear! | 総発生量(t) | － | 1.301(t) | － |
| | | | | リサイクル量(t) | － | 1.167(t) | － |
| 4.節水による総排水量削減 | 32.6(ℓ)/人 | 27.2(ℓ)/人 | ▲5.4(ℓ)/人 clear! | 総排水量($m^3$) | 14,009($m^3$) | 13,237($m^3$) | clear! ▲772($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 6 名 | 2名 | 33% | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフへの定期教育・勉強会の開催<br>・館内各所の表示によるご協力依頼の実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： ロビー等共用部においてにLED電球に更新<br>文房具 ： コピー紙やフラットファイルなど使用頻度の高い物を適応品に移行 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　　※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※ 食品リサイクル率目標値は前年度実績不明な為、全社目標値を採用しています。

**【 活動実績及びその評価 】**

県主催の催物を行う場合、県が定めるエコイベントマニュアルに沿って活動を行いました。

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

☆ 5月～10月の間、従業員の制服のクールビズを実施しました。(ノージャケット･ノーネクタイ)
☆ 7月～8月の間、小ホール棟エレベーター2基の内、1基を運転停止しました。
※ 節電対策事例
☆ 従業員事務所の空調運転時間の30分短縮実施。**(年間約1，525kwhの削減)**
☆ 温便座トイレに節電の案内を貼りました。**(年間消費電力 279．2kwhの削減)**
☆ 高効率空調設備への入替えによる電気料金の契約プラン変更。**(ピーク電力 60KWの削減)**
☆ ヒートポンプ方式環境対応機型の自動販売機への更新。**(年間消費電力 約700kwhの削減)**

**《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について 》**

☆ 分別を徹底し、リサイクル業者に渡し、有効活用していただきました。
☆ 社内･事務所でリサイクル封書を使っています。
☆ 催し物パンフレット等、数が読める物の作成物に関して、少し多目ではなく、
無駄にならないロット数で発注しています。社内便はリサイクル封書を使用しています。

**《 節水による総排出量削減について 》**

☆ 節水機能型の洋式トイレに変更しました。
☆ レストランシレーヌの水道に節水コマを取り付けました。

【節水コマを取り付けました】

**《 スタッフ、お客様への啓発活動について 》**

☆ 月に一度、ECOに関する会議を開催しています。
☆ エレベーター前に階段利用の啓発チラシを貼りました。
また貸し館ご利用のお客様との打合せ時に、エスカレーターご利用の有無を確認し、支障がない限り、稼働をご遠慮頂いています。
☆ 意識付けも含め、従業員全員ECO検定合格に向け取り組んでいます。

**【 次年度の取組内容について 】**

☆ 施設管理会社、清掃委託会社を含めた省エネ推進、廃棄物のリサイクル推進体制の構築を致します。
☆ 県立ミュージアム内レストラン(カフェポット ミュゼ)に、節水コマの装着を考えています。
☆ 事務所照明、SC(サービスセンター)およびレストランの照明･点灯時間の見直しを行い、お客様サービスの質を落とす事なく、節電へと繋げていきます。
☆ 今年度の取り組みとしてヒートポンプ式環境対応機型の自動販売機を設置致しましたが、更なる節電効果が見込めるピークシフト自販機(電力のピーク時間を避けて上手に節電出来る自動販売機)の導入を考えています。

以上

# 6-3 高松テルサ

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） |
|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 1.76 | 2.218 | 0.458 |
| | ($kg-CO_2$)/人 | ($kg-CO_2$)/人 | ($kg-CO_2$)/人 |
| 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般） | 14.7 | 14.1 | ▲0.6 |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 95.0% | 95.0% | 100% clear! |
| 4.節水による総排水量削減 | 24.93(ℓ)/人 | 23.96(ℓ)/人 | ▲0.971(ℓ)/人 clear! |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 4 名 | 2 名 | 50% |

| 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|
| $CO_2$ 排出量($kg-CO_2$) | 827,213($kg-CO_2$) | 831,357($kg-CO_2$) | 4145 ($kg-CO_2$) |
| 電気使用量(kwh) | 1,487,257(kwh) | 1,483,165(kwh) | clear! ▲4,092(kwh) |
| ガス使用量($m^3$) | 95,682($m^3$) | 98,518($m^3$) | 2,836($m^3$) |
| 排出量((a)-(b))(t) | 5(t) | 4.634(t) | clear! ▲0.366(t) |
| 廃棄物発生量(a) (t) | 5(t) | 8.079(t) | 3.079(t) |
| リサイクル量(b)(t) | － | 3.445(t) | － |
| 総発生量(t) | 2.236(t) | 2.354(t) | 0.118(t) |
| リサイクル量(t) | 2.124(t) | 2.236(t) | 0.112(t) |
| 総排水量($m^3$) | 8,741($m^3$) | 8,083($m^3$) | clear! ▲658($m^3$) |

| | |
|---|---|
| 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・月に１度の内部会議と業者（施設管理者）との会議にて、各月の反省とエコ活動の周知<br>・館内各所の表示による御協力依頼の実施 |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： 事務所の照明を一部、LED電球に更新<br>文房具 ： コピー紙やフラットファイルなど使用頻度の高い物を適応品に移行 |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407($kg-CO_2$)/KW(四国電力)　※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。昨年実績不明の為、目標値は全社目標値を採用しています。　※食品・一般廃棄物については、2011年度数値はありません。

### 【 活動実績及びその評価 】

省エネタイプの自動販売機を設置しました。

#### 《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》

☆ 8月1日～31日までの間、会議室1室を開放し涼しい場所を提供するクールシェアを実施しました。小学生、中学生延べ30人のご利用がありました。
　次年度も継続して実施し、さらに告知を拡大して、より地域貢献に繋げていきます。
☆ 館内の自動販売機8台をヒートポンプ式省エネ設計タイプに変更し、次年度の電力削減に繋げていきます。（年間削減見込消費電力量 6,706kwh）
☆ ロビーに設置している貸出用のブランケットがお客様に好評を頂いており、ホール30枚とレストランに20枚追加設置いたしました。
☆ 5月～10月の間、全スタッフの制服のクールビズを実施しました。
（ノージャケット、ノーネクタイ）

#### 《 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

☆ コンポストを設置しました。(現在テスト中)
☆ ペットボトルキャップの回収も継続して行い、お客様も参加して頂いています。
（前年度:3,496個 //今年度 :9,719個）

#### 《 グリーン購入の実施について 》

☆ ロビーや管理事務所の電灯・電球140個をLEDに交換しました。

LED 電球に交換しました。

#### 《 その他の取り組みについて 》

☆ 指定管理者事業部で毎月会議を行い、現状管理と取り組みの共有化を行っています。
☆ 毎月ご協力会社様との会議を行い、各業務及び設備の実態を把握し、エコ活動に取り組んでいます。

### 【 次年度の取組内容について 】

☆ 各階ロビー、エレベーターホール等常時点灯時間が長い箇所から順次LED化を進めていきます。
（電灯・電球218個を交換し年間21,699kwhの削減が見込まれます。）
☆ 高松テルサ20周年事業の一環として、1階ラウンジ、レストラン部分に初夏の間グリーンカーテンを設置し、お客様への涼感と癒しを提供し、$CO_2$削減にも貢献します。
☆ プルタブを回収し廃棄物削減に取り組みます。
☆ 各種環境関連展示会等に積極的に参加し、エコ対策知識の向上並びに、商品情報を入手し、効果的な導入に努めます。　以上

# 6-4 クアパーク津田・クアタラソさぬき津田

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） |
|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 8.629 | 7.699 | ▲0.93 clear! |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 |
| 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般） | 315 | 177 | ▲138 clear! |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 51.1% | 9.6% | 18.8% |
| 4.節水による総排水量削減 | 380(ℓ)/人 | 358(ℓ)/人 | ▲22(ℓ)/人 clear! |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | ４名 | １名 | 25% |
| 7.グリーン購入の実施 | ・LED 電球の使用推進 ： 館内一部をLED電球に変更 ・文房具 ： エコマーク商品の購入 | | |

| 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|
| $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 1,002,221(kg－$CO_2$) | 962,346(kg－$CO_2$) clear! | ▲39,875(kg－$CO_2$) clear! |
| 電気使用量(kwh) | 1,163,681(kwh) | 1,132,224(kwh) | ▲31,457(kwh) |
| ガス使用量($m^3$) | 30,031($m^3$) | 71,582($m^3$) | 41,551($m^3$) |
| 排出量((a)-(b))(t) | (参考)17.670(t) | 10.760(t) | － |
| 廃棄物発生量(a) (t) | (参考)22.330(t) | 20.570(t) | － |
| リサイクル量(b)(t) | (参考)4.660(t) | 9.810(t) | － |
| 総発生量(t) | (参考)11.270(t) | 13.332(t) | － |
| リサイクル量(t) | (参考)10.706(t) | 1.281(t) | － |
| 総排水量($m^3$) | 44,091($m^3$) | 44,695($m^3$) | 604($m^3$) |
| 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・ミーティング時に、エコについての意見交換の実施<br>・お客様に対しては、館内随所に掲示物等による活動の呼びかけ | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※ 食品リサイクル率目標値は全社目標値です。(前年度はデータ計測無し)

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

☆〈ゴーヤのグリーンカーテンに挑戦〉
クアパーク津田1階客室の廊下側は、一日中太陽が照りつけ、廊下の温度がかなり上昇します。世間で流行しているゴーヤのグリーンカーテンに挑戦しましたが、十分に育たず、残念な結果に終わりました。原因は、プランターが小さく栄養が不足したためではないかと考えられます。次年度も挑戦し、収穫したゴーヤを来館者にプレゼントしたいと考えています。

☆ 〈全客室26室に網戸を設置〉
今まで網戸がなかったため、窓をあけると虫が入り込み、空調機での室温調節でした。網戸を設置して外気を取りこむことにより、空調機の使用抑制につながり、より潮風と波音を堪能できるようになりました。

☆ 〈冬季中プール・全身浴への保温シートの設置〉
昨年に引き続き、冬季期間中閉館から翌朝までプール・全身浴に保温シートを設置し、翌日の給湯加熱の無駄を省きました。

☆ 〈クアタラソ プール、風呂給湯システム 完全ガス化〉
平成 11 年 12 月より設置したガス給湯システムは、1年間のガス運用を終え、加温の速さや $CO_2$ 排出量の削減に大きく貢献できました。

☆ 〈電気ポット撤去〉
客室に設置していた電気ポットを撤去し、新しくティファールを設置しました。常時通電が不要になり、節電が期待出来ます。

**《 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》**

☆ エコキャップ運動は前年度より継続実施中。(クアパーク津田:3,800個、クアタラソさぬき津田:3,100個)

☆ プルタブ回収開始しました。

**《 食品リサイクル率の向上について 》**

☆ 生ごみの完全分別が出来ておらず、お箸、ビニール等が混合していた為に焼却処分にまわされていた事が判明、25年3月からは完全分別を徹底するようにしました。

☆ 生ごみ排出量を削減と植栽の肥料用として利用目的としてコンポスト2基設置、実証検証中です。

**《 節水による総排水量削減について 》**

☆ 〈シャワーヘッド交換〉
両施設の大浴場内のシャワーヘッド交換及び節水こま交換18個を実施しました。

**《 スタッフ、お客様への啓発活動について 》**

インターネットプランにて、「エコプラン」販売。(アメニティ、タオル等は、部屋に置かずお客様持参。)

**《 グリーン購入の実施について 》**

☆ 通常購入備品についてはエコマーク製品の購入に努めています。

社員で海岸掃除を実施しました。

**【 次年度の取組内容について 】**

☆ 生ごみ完全分別の実施 リサイクル率80%以上を目標とします。

☆ エコ検定合格者 目標4名。

☆ 前年より実施中の下記デイリー活動を継続実施します。
①水道メーターのチェック②ガスの停止チェック③エアコン停止チェック④フロア消灯チェック⑤朝の屋外清掃実施。

以上

# 6-5 津田の松原サービスエリア

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 0.618 | 0.618 | 0.000 | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 727,436(kg－$CO_2$) | 715,816(kg－$CO_2$) clear! | ▲11,620(kg－$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 1,371,473(kwh) | 1,330,794(kwh) clear! | ▲40,679(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 25,374($m^3$) | 26,234($m^3$) | 860($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 39 | 41 | 2 | 排出量((a)-(b))(t) | 18.389(t) | 19.274(t) | 0.835(t) |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | 55.560(t) | 47.008(t) clear! | ▲8.552(t) |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | 37.171(t) | 27.734(t) | ▲9.387(t) |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 27.8% | 25.6% | 92.1% | 総発生量(t) | 37.709(t) | 38.673(t) | 0.964(t) |
| | | | | リサイクル量(t) | 9.712(t) | 9.904(t) | 0.192(t) |
| 4.節水による総排水量削減 | 12(ℓ)/人 | 11.5(ℓ)/人 | ▲0.5(ℓ)/人 clear! | 総排水量($m^3$) | 13,607($m^3$) | 13,325($m^3$) | clear! ▲282($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 2 名 | 0 名 | 0% | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフの教育については朝・夕礼にて実施<br>・館内各所の表示によるご協力依頼の実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | ※ LED 電球の使用推進 ：上下線ともに店内24時間点灯蛍光灯箇所及び上りシャッター内スナックコーナー前蛍光灯に LED を使用　※ 文房具 ：コピー用紙及びフラットファイル・インク等使用頻度の高い物で適応品に移行 | | | | | | |

※　購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)

### 【 活動実績及びその評価 】

#### 《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》

☆ 8月～10月冷房設定温度26度を徹底・努力。(8月猛暑の為、随時調整運転) (前年比▲17,268kwh)
☆ 3月より室内温度中間期での空調機停止調整。
☆ 倉庫・トイレ等の照明器具消灯、更なる掲示により、取組意識の呼びかけを実施。
☆ 自動販売機 ピークシフト方式環境対応機に変更。(年間消費電力11%の削減)
☆ 食材運搬車(デリカ)を軽自動車に変更。(削減期待効果 ガソリン:約▲3300L)

設定温度の徹底及び停止

#### 《 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について 》

☆ 割り箸リサイクルの継続(毎日)。【本年度 1,652kg(ボックスティッシュ換算2477箱)】
☆ エコキャップ回収活動継続 上下ともに、8/1より、屋外ゴミ箱にも設置。
(地元の造田小学校のリサイクル活動へ寄付。【本年度 135kg(ポリオワクチン換算67.5本)】)
☆ 紙ゴミは、シュレッダーし、ダンボール同様リサイクルにしました。

ピークシフト自販機導入

#### 《 食品リサイクル率の向上について 》

☆ 今年度はコンポスト(130L×2台)を設置し、減量化を試みましたが、満足な結果は得られませんでした。
☆ 製品(うどん、ごはん等)の需要予測を実施し製造量調整の実施、消費期限の設定、
調理方法の改善による排出量削減。

食材運搬車 軽自動車に変更

#### 《 節水による総排出量削減について 》

☆ 水道蛇口パッキン交換及び啓発掲示を継続しており、良好な結果が得られました。

#### 《 スタッフ、お客様への啓発活動について 》

☆ 朝礼・夕礼の実施(週2回)により、エコアクションの活動報告及び啓発表示を説明。
☆ ご利用のお客様へは、割り箸リサイクル及びエコキャップ回収活動に関した数字を
掲示し、具体的成果が確認できるようにしました。

屋外ゴミ箱にも回収箱

### 【 次年度の取り組み内容について 】

☆ 省エネ対策として、店内照明をすべてLED化・・(見積中)
☆ エアカーテンの設置。
(屋外トイレ側入り口には風除室がなく店内冷房効果が著しく低下、空調機がフル回転してしまう為、検討中)
☆ 空調設備の随時変更。(省エネ型に変更)・・(見積中)
☆ 省エネ自動販売機のピークシフト自販機への更新。
☆ 食品リサイクルの実施。
☆ 朝礼・夕礼を通しての、全社員への啓発活動の徹底。

以上

# 6-6 アルファ津田カントリークラブ

## [運用期間 2012 年 4 月～2013 年 3 月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数 1 人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 7.859 | 8.143 | 0.284 | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 295,635(kg－$CO_2$) | 290,372(kg－$CO_2$) clear! | ▲5,263(kg－$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 330,122(kwh) | 328,126(kwh) clear! | ▲1,996(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 5,621($m^3$) | 5,276($m^3$) clear! | ▲345($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 178 | 168 | ▲10 clear! | 排出量((a)-(b))(t) | 6.670(t) | 4.820(t) clear! | ▲1.850(t) |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | 9.210(t) | 7.555(t) | ▲1.655(t) |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | 2.540(t) | 2.735(t) | 0.195(t) |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 51.1% | 14.5% | 28.4% | 総発生量(t) | (参考)6.553(t) | 6.714(t) | － |
| | | | | リサイクル量(t) | (参考)4.975(t) | 0.974(t) | － |
| 4.節水による総排水量削減 | 175(ℓ)/人 | 249(ℓ)/人 | 74(ℓ)/人 | 総排水量($m^3$) | 6,607($m^3$) | 8,898($m^3$) | 2,291($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 1 名 | 1 名 | 100% clear! | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・朝礼での節電・節水の周知<br>・掲示板に環境活動の報告を掲載し、お客様にも関心を持っていただくようにしている | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： 館内の 70%をLED化 交換可能箇所から徐々にLEDに交換中<br>文房具 ： エコマーク付き商品の購入を促進 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※ 食品リサイクル率目標値は全社目標値です。(前年度の数字は、回収業者データです。)

### 【 活動実績及びその評価 】

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

朝礼などで節電を呼びかけ、お客様がご利用していない場所の電気は積極的に消すよう心がけた結果、電気使用量を削減することが出来ましたが、昨年より来場者人数が1,392名少なかったため、一人当たりのCO2排出量が増える結果となりました。

**《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》**

昨年度までは、ペットボトルを可燃ゴミとして回収していましたが、分別して回収してもらうよう改善しました。
その結果、目標より1.695t削減することができました。

**《 食品リサイクル率の向上について 》**

無駄の出ないよう仕入れなどに注意したり、お客様の食べ残しの水分を十分に切るよう心がけたりすることで、ゴミの量を増やさないように工夫しています。

**《 節水による総排水量削減について 》**

2012年11月から12月にかけて、貯蔵タンク配管破損による水漏れが原因で、排水量が昨年度より大幅に増える結果となってしまいました。
2011年11月排水量 513.5㎥ → 2012年11月排水量 1446.0㎥ 932.5㎥増
2011年12月排水量 621.0㎥ → 2012年12月排水量 1533.0㎥ 912.0㎥増

### 【 その他のエコに関する活動 】

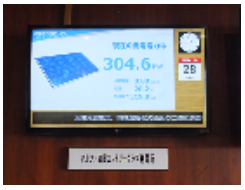
**《 1.エコキャップ及び、プルタブ回収運動 》**

お客様のプレー終了後は空のペットボトルがゴミとして大量に捨てられていました。
そこで、私たちもエコキャップ回収運動に賛同し、積極的に回収活動を行うことにしました。
また、回収した実績を掲示することで、お客様にもこの活動を知ってもらうよう工夫しました。
回収したエコキャップは、グループ会社の『あなぶきパートナー』へ寄贈しています。

**《 2.太陽光発電用地貸出 》**

穴吹興産㈱の太陽光発電事業に協力し、当クラブの休閑地を貸し出しています。
発電された電気は再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度に基づき、全量を四国電力に売電するようになっています。
平成25年3月末に設置工事及び試運転が終了し、平成25年4月1日より本格運用されました。

・面　　積 ： 約5,220㎡
・パネル枚数 ： 1,666枚
・最 大 出 力 ： 約0.4MW
・年間発電量 ： 約38万kWh(一般家庭約120世帯分相当)



### 【 次年度の取り組み内容について 】

次年度も、引き続きスタッフ及びお客様へのエコに関する啓発を行い、エコ活動に対する意識を強めていく所存です。
これまで以上に、使用していない場所の節電の徹底と、エアコンの温度管理、節水を呼びかけていきたいと思います。
また、廃棄物の発生抑制については、ペットボトルのリサイクル推進や、『エコキャップ回収運動』及び、『プルタブ回収活動』を継続して行っていきます。一人ひとりができることを徹底し、『持続可能な社会』づくりに貢献していきたいと思っています。　以上

# 6-7 高松国際ホテル

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 5.15 | 4.97 | ▲0.18 clear! | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 1,261,883(kg－$CO_2$) | 1,228,292(kg－$CO_2$) | clear! ▲33,591(kg－$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 2,441,580(kwh) | 2,281,700(kwh) | clear! ▲159,880(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 110,119($m^3$) | 123,522($m^3$) | 13,403($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 86 | 91 | ▲5 clear! | 排出量((a)-(b))(t) | 17.977(t) | 18.202(t) | 0.225(t) |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | 25.123(t) | 25.108(t) | 0.015(t) |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | 7.146(t) | 6.906(t) | ▲0.240(t) |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 46.2% | 38.1% | 82.5% | 総発生量(t) | 27.140(t) | 26.762(t) | clear! ▲0.378(t) |
| | | | | リサイクル量(t) | 12.530(t) | 10.202(t) | ▲2.328(t) |
| 4.節水による総排水量削減 | 153.97(ℓ)/人 | 172.20(ℓ)/人 | ▲18.23(ℓ/人) clear! | 総排水量($m^3$) | 32,250($m^3$) | 34,601($m^3$) | 2,351($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 4 名 | 7 名 | 170% clear! | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフへの定期教育・勉強会の開催<br>・館内各所の表示によるご協力依頼の実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： ロビー等共用部においてにLED電球に更新<br>宴会棟にて(空調設備の更新、天井断熱、遮熱フィルム)を実施 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　　※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減活動について 》**

☆ ロビー・共用廊下のダウンライトの一部をLEDに変更して、省エネルギー化に取り組んでいます。
☆ 宿泊されたお客様のチェックアウト後、客室のエアコン(フロントで集中管理)をOFFにしています。
☆ 共用部照明や、宴会場照明、空調の時間管理を徹底し、使用エネルギーの削減を図っています。
☆ 宴会棟の空調設備入れ替えを、平成24年8月～9月に実施。
省エネタイプの機器に変更を行い、$CO_2$排出量の削減を図っています。

**《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について 》**

☆ シュレッダー・コピー用紙の廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。
☆ 廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品業者様に梱包材(ダンボール等)の回収を依頼しています。
☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。
☆ ごみの分別を徹底しています。
分別種類:①不燃物②可燃物(リサイクル)③可燃物(単純焼却)④生ごみ(リサイクル)⑤生ごみ(単純焼却)⑥ダンボール
⑦古紙⑧コピー用紙のリサイクル⑨廃プラスチック⑩シュレッダー

**《 食品リサイクル率の向上について 》 ＜洋食･和食調理部＞**

☆ 食材に無駄が出ない様、在庫管理を徹底し商品発注をしています。
☆ 産業廃棄物(廃食用油)のリサイクルに取り組んでいます。(※廃食用油は、肥料へとリサイクルされています。)
☆ 調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物を削減できるよう工夫しています。
☆ 宴会場で発生するごみを分別(生ごみ・以外の可燃物)することにより食品リサイクル量を増加致します。

**《 節水による総排出量削減について 》**

☆ 各蛇口に節水シールを掲示し、節水意識の高揚を促しています。
☆ 一部水栓に節水コマを取り付けて、初期流量を減らしています。

**《 その他の活動について 》**

☆ 電子メールの活用及びミスプリント削減を推進することにより、コピー用紙使用量及び廃棄物の削減に努めています。
☆ リサイクルの一環として、12月から始めた、「プルタブ・アルミ缶を集めて車イスを贈ろう！」活動を継続していきます。

**【 次年度の取組内容について 】**

☆ LED照明への入替えを推進します。点灯時間の見直しや未使用時の消灯にさらに取り組みます。
7～9月の電力ピークに対して、可能な範囲で空調の使用制限や不必要な照明の消灯を行います。
☆ 今年度目標未達成項目については、再度見直しを行い改善を図っていきます。

以上

# 6-8 チサンイン高松

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 10.22 | 9.57 | ▲0.65 clear! | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 328,350(kg－$CO_2$) | 305,419(kg－$CO_2$) clear! | ▲22,931(kg－$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 455,094(kwh) | 420,504(kwh) clear! | ▲34,590(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 48,534($m^3$) | 58,544($m^3$) | 10,010($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 293 | 240 | ▲53 clear! | 排出量((a)-(b))(t) | (参考)5.198(t) | 7.645(t) | － |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | (参考)5.343(t) | 9.739(t) | － |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | (参考)0.145(t) | 2.094(t) | － |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 51.1% | 0% | 0% | 総発生量(t) | (参考)0.358(t) | 0.637(t) | － |
| | | | | リサイクル量(t) | － | － | － |
| 4.節水による総排水量削減 | 399(ℓ)/人 | 430(ℓ)/人 | 31(ℓ)/人 | 総排水量($m^3$) | 14,009($m^3$) | 13,237($m^3$) clear! | ▲772($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 4 名 | 4 名 | 100% clear! | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | 従業員及び委託業者への教育を合計年 3 回以上及び、ご利用者様への啓発を目標として継続中。 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： 客室廊下の照明と非常出口誘導灯を LED に交換<br>文房具 ： トナーカートリッジをリサイクル製品且つ容量 2 倍の物へ変更 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数：0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　　※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※ 上表中の(参考)表示は集計期間2011年9月～2012年3月の数値です。※ 食品リサイクル率目標値は全社目標値です。(前年度はデータ計測無し)

### 【 活動実績及びその評価 】

#### 《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》

下記取組を重点的に活動して来ました。上記の通り目標達成出来ており、今後も継続して行きます。

☆ 点灯時間の長いロビーや客室廊下の照明をLEDランプに更新し、ピーク電力、使用電力を削減しました。
☆ 客室のアサインを調整し、廊下照明の点灯時間の調整や、可能な場合はフロア毎に消灯しました。
☆ ロビー周りの空調エリア、空調時間の調整を実施し、お客様のご利用の少ない時間等の空調OFFを実施しました。

#### 《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

昨年度数値が半期分数値であり、見かけ上は増加しているように見えますが、原単位では削減が出来ており、目標達成出来ています。
しかしながら、リサイクル率が低く、廃棄物の分別の徹底を今後推進します。

☆ レストランでの割り箸使用を止め、洗浄可能な樹脂製の箸へ変更しました。
☆ トナーカートリッジをリサイクル回収にし、カートリッジ自体の容量を2倍のものに変更しました。
☆ コピー機及びコピー機前の壁面にミスコピー防止の注意書きを貼り付けています。

#### 《 食品リサイクル率の向上について 》

当ホテルレストランは朝食専用にて使用しており、前日の予約にて利用者数を把握し、調理済みの食材使用や、利用者数に合せた食材の仕入れを実施し、食品廃棄物の発生に取組んでいます。毎日の廃棄物量が少なく、やむなく、一般廃棄物として処理しています。

#### 《 節水による総排水量削減について 》

館内の定期巡回点検時に、お客様用共用トイレ等点検を実施し、無駄な吐水等無きように対応いたしました。

#### 《 スタッフ、お客様への啓発活動について 》

館内各コピー機にミスコピー防止のPOPを貼り紙の削減に務めました。

### 【 次年度の取組内容について 】

☆ 節電や節水をしたり、という自分達の業務の中で出来る身近な無駄を少しでも減らす活動を推進して行きます。
☆ 廃棄物の分別を確実に出来るように、スタッフ、協力会社との協力体制を作って行きます。
☆ 環境への取組について、啓発表示を掲示し、お客さまにご理解･ご協力をいただけるようにPR致します。

以上

# 6-9 ロイヤルパークホテル高松

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 10.248 | 9.890 | ▲0.358 clear! | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 586,124(kg-$CO_2$) | 531,440(kg-$CO_2$) | clear! ▲54,684(kg-$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 893,209(kwh) | 815,903(kwh) | clear! ▲77,306(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 97,058($m^3$) | 86,925($m^3$) | clear! ▲10,133($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 162 | 404 | 242 | 排出量((a)-(b))(t) | (参考)5.170(t) | 21.800(t) | － |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | (参考)5.600(t) | 27.771(t) | － |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | (参考)0.430(t) | 5.971(t) | － |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 51.1% | 77.2% | 151.1% clear! | 総発生量(t) | (参考)2.330(t) | 15.230(t) | － |
| | | | | リサイクル量(t) | － | 11.760(t) | － |
| 4.節水による総排水量削減 | 265(ℓ)/人 | 252(ℓ)/人 | ▲13(ℓ)/人 clear! | 総排水量($m^3$) | 13,738($m^3$) | 13,587($m^3$) | clear! ▲0.151($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 2 名 | 0 名 | 0% | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフへの定期教育・勉強会の開催<br>・館内各所の表示によるご協力依頼の実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： ロビー等共用部においてにLED電球に更新<br>文房具 ： コピー紙やフラットファイルなど使用頻度の高い物を適応品に移行 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　　※(参考)データ採用期間は、2011年11月～2012年3月の4ヶ月間です。

※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。目標値は全社目標値を採用しています。

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

☆無駄な電気使用量を削減するため、節電を促す掲示物を照明スイッチ周辺に掲示しました。
☆特に、夜間の消灯を積極的に行い、省エネルギーを心がけました。
☆清掃時における空調カット及び、必要最小限の照明の使用を徹底しました。
☆館内巡回を夜に行い、共有スペースの電気の消し忘れや水道の蛇口のしめ忘れ等を
　チェックシートを作成しデイリーワークとして実行しました。

節電を促す掲示物

**《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》**

☆廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品･ご協力会社様に持ち帰り可能な
　容器･ダンボールについては各自で持ち帰るよう、ご協力をいただいています。

**《 食品リサイクル率の向上について 》 ＜和食調理部＞**

☆食材に無駄が出ないように在庫の管理を行い効率の良い発注を心がけています。
☆調理場にいる人数に応じて必要最低限の照明を使用しています。
☆廃食用油のリサイクルへの取り組み(2012年4月～2013年3月実績　1.35t)天ぷら油の再利用を100%行っています。
☆食材が残った場合には、まかない食として使用し、出来るだけ廃棄物が出ないようにしています。

**《 節水による総排水量削減について 》**

☆　館内の定期巡回点検時に、お客様用共用トイレ等点検を実施し、無駄な吐水等無きように対応いたしました。

**《 コピー用紙使用量の削減について 》**

☆　館内各コピー機にミスコピー防止のPOPを貼り紙の削減に務めました。

**【 次年度の取組内容について 】**

☆　節水をしたり、無駄な電気や紙を使わないという自分達の業務の中での無駄を少しでも減らす活動を身近なところから取り組みます。
☆宴会場の空調機･照明を必要のないときにはOFFにし、省エネを心がけます。
☆環境への取組について、目に留まりやすいフロントカウンターに環境方針を
　掲示し、お客さまにご理解･ご協力をいただけるようにPR致します。

以上

# 6-10 琴平パークホテル

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 8.127 | 8.424 | 0.297 | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 221,531(kg－$CO_2$) | 205,340(kg－$CO_2$) clear! | ▲16,191(kg－$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 358,930(kwh) | 329,286(kwh) clear! | ▲29,644(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 32,895($m^3$) | 31,096($m^3$) clear! | ▲1,799($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 0.138 | 0.158 | 0.02 | 排出量((a)-(b))(t) | (参考)2.297(t) | 3.368(t) | － |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | (参考)3.192(t) | 5.008(t) | － |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | (参考)0.895(t) | 1.640(t) | － |
| 3.食品リサイクル率の向上 | － | － | － | 総発生量(t) | － | 0.783(t) | － |
| | | | | リサイクル量(t) | － | － | － |
| 4.節水による総排水量削減 | 334(ℓ)/人 | 300(ℓ)/人 | ▲34(ℓ)/人 clear! | 総排水量($m^3$) | 14,009($m^3$) | 13,237($m^3$) | clear! ▲772($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 4 名 | 0 名 | 0% | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフへの定期教育・勉強会の開催<br>・館内各所の表示によるご協力依頼の実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： 1F フロアー照明を 6 月に LED に交換<br>文房具 ： コピー用紙等利用頻度の高い消耗品については実施 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　※ 食品リサイクルは、生ゴミの発生が少量であるため実施しておりません。(総発生量は、前年度計測なし)　※廃棄物排出量の2011年度数値集計期間は、2011年9月～2012年3月です。

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

下記取組を重点的に活動して来ました。残念ながら目標未達成に終わりましたが、今後も継続して行きます。

☆ チェックシートを作成し、チェックアウト後の客室空調や照明を消すように昨年同様継続しました。
（ 節電取組実績 :8,055室/12ヶ月間）

☆ ホテル全客室(88室)のエアコンフィルターを、3か月に1度の周期で定期的に清掃を行い、目詰まりによる過剰な電気使用を防いでいます。又、8階展望浴場の換気扇、フィルターの清掃は月に1度、清掃を実施しています。

☆ フロントの間接照明を21:00、風除室の照明を22:30頃に消灯し、また駐車場案内の看板、軒下のダウンライト、出入口の照明を夜の点灯時間を季節に応じて変更しています。

☆ 展望浴場の浴槽温度を季節ごとに調整。冬41℃・夏39度　過剰なガスの供給を防いでいます。

☆ 点灯時間の長いロビーや客室廊下の照明をLEDランプに更新し、ピーク電力、使用電力を削減しました。

☆ 客室のアサインを調整し、廊下照明の点灯時間の調整や、可能な場合はフロア毎に消灯しました。

☆ ロビー周りの空調エリア、空調時間の調整を実施し、お客様のご利用の少ない時間等の空調OFFを実施しました。

**《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》**

☆ 昨年度の半期分数値を基に目標設定をして活動してきましたが、目標未達成となりました。
リサイクル率が32.7%と低く、廃棄物の分別の徹底を今後推進します。

**《 食品リサイクル率の向上について 》**

☆ 食事提供は、朝食のみなので、食品リサイクルへの取り組みは、食材に無駄が出ないよう計画的に発注を行っています。

**《 節水による総排水量削減について 》**

☆ 館内の各所に節水表示等を掲示し、節水意識を高めると共に、定期巡回を実施し、無駄な吐水等無きように対応いたしました。

**《 スタッフ、お客様への啓発活動について 》**

☆ 自分達の業務の中で出来る身近な無駄を少しでも減らす事の重要性を日々のミーティング等にて話合っています。

**【 次年度の取組内容について 】**

☆ 廃棄物の分別を確実に出来るように、スタッフ、協力会社との協力体制を作って行きます。

☆ 環境への取組について、啓発表示を掲示し、お客さまを交えた展開を進めます。

以上

# 6-11 リーガホテルゼスト高松

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 5.141 | 5.663 | 0.522 | $CO_2$ 排出量(kg－$CO_2$) | 1,163,830(kg－$CO_2$) | 1,128,890(kg－$CO_2$) clear! | ▲34,940(kg－$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 1,969,364(kwh) | 1,918,216(kwh) clear! | ▲51,148(kwh) |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | 146,808($m^3$) | 149,612($m^3$) | 2,804($m^3$) |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 164 | 156 | ▲8 clear! | 排出量((a)-(b))(t) | (参考)36.960(t) | 21.600(t) | － |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | (参考)48.640(t) | 26.864(t) | － |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | (参考)11.680(t) | 5.264(t) | － |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 51.1% | 62.6% | 122.5% clear! | 総発生量(t) | － | 25.222(t) | － |
| | | | | リサイクル量(t) | － | 15.801(t) | － |
| 4.節水による総排水量削減 | 118.2(ℓ)/人 | 125.2(ℓ)/人 | 7(ℓ)/人 | 総排水量($m^3$) | 26,783($m^3$) | 24,968($m^3$) | 1,815($m^3$) |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 3 名 | 3 名 | 100% clear! | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフへの定期教育・勉強会の開催<br>・館内各所の表示による御協力依頼の実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： パブリック及び外壁照明を中心に337個交換済み<br>文房具 ： グリーンマーク対象品を極力購入 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　　※ 食品リサイクル率は、総排出量に対する%表示であり、原単位によるものではありません。
※食品リサイクル率は2012年8月～2013年3月のデータです。目標値は全社目標値を採用しています。 ※2011年の食品残渣は、廃棄物発生量に含まれています。

### 【 活動実績及びその評価 】

昨年8月より、運用を開始した為、食品リサイクルデータが通期で取れていないが、概ね良好に運営出来たと判断しています。初年度という事で、目標未達成に終わったが、今期データを基に、設定目標値の検証も実施し、来年の活動につなげて行きます。

**《省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減活動について》**

☆ パブリックスペース及びホテル外壁ブラケットをLEDに変更して、省エネルギー化に取り組んでいます。今後も随時LED照明に変更していく予定です。
☆ ロビーの照明を24時から6時30分まで必要最小限の物を残し消灯しています。
☆ 宴会場照明スイッチに一時間当たりの電力使用料金を掲示し節電を啓発。
☆ 閑散日に販売する宿泊客室フロアを限定し、売り止めフロアは照明・エアコン全停止に努めています。

**《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量の削減について 》**

☆ シュレッダー・コピー用紙の廃棄を古紙回収専門業者に依頼しリサイクルしています。
☆ 廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品業者様に梱包材(ダンボール等)の回収を依頼しています。
☆ プリンターカートリッジのリサイクル回収(100%回収)をしています。
☆ ごみの分別を徹底しています。
分別種類:①不燃物②可燃物(リサイクル)③可燃物(単純焼却)④生ごみ(リサイクル)⑤ダンボール⑥シュレッダー

**《 食品リサイクル率の向上について 》 ＜洋食･和食調理部＞**

☆ 食材に無駄が出ない様、在庫管理を徹底し商品発注をしています。
☆ 産業廃棄物(廃食用油)のリサイクルに取り組んでいます。(※廃食用油は、BDFへとリサイクルされています。)
☆ 調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物を削減できるよう工夫しています。
☆ 宴会場で発生するごみを分別(生ごみ・以外の可燃物)することにより食品リサイクル量を増加致します。

**《 節水による総排出量削減について 》**

☆ 各所への啓発表示を実施しております。
☆ 一部蛇口を感知式センサー内蔵の物に交換しました。

### 【 次年度の取組内容について 】

☆ 更なるエコ活動の推進のためにスタッフ、お客様への啓発活動の推進。
☆ 照明器具のLED化促進等高効率機器への更新促進。
☆ 地下事務所など個別空調で温度調整が可能なプライベートエリアの温度を夏:28度、冬20度 に設定。
☆ ゲスト未使用時の宴会場・レストラン・客室フロア空調・照明オフの啓発及び巡回による実施状態の確認と指導の徹底。
☆ 館内室温調査とセントラルヒーティング対応フロアの基本水温見直し。
☆ 節水コマの取り付け。

以上

# 6-12 旅館くらしき・倉敷珈琲館

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） |
|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 3.168 | 2.856 | ▲0.312 clear! |
| | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 | (kg－$CO_2$)/人 |
| 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般） | － | 17 | － |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 51.1% | 1.8% | 3.5% |
| 4.節水による総排水量削減 | 0.223(ℓ) | 0.205(ℓ) | ▲0.018(ℓ) clear! |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 次年度より受験予定 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： 次年度より、随時変更予定 ※文房具 ： エコマーク付きの商品の購入を促進 | | |

| 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|
| CO2 排出量(kg－$CO_2$) | 243,671(kg－$CO_2$) | 236,613(kg－$CO_2$) clear! | ▲7,058(kg－$CO_2$) |
| 電気使用量(kwh) | 336,396(kwh) | 320,778(kwh) clear! | ▲15,618(kwh) |
| ガス使用量($m^3$) | 45,960($m^3$) | 45,589($m^3$) clear! | ▲371($m^3$) |
| 排出量((a)-(b)) | － | 1.379(t) | － |
| 廃棄物発生量(a) | － | 1.503(t) | － |
| リサイクル量(b) | － | 0.124(t) | － |
| 総発生量 | － | 23.533(t) | － |
| リサイクル量 | － | 0.432(t) | － |
| 総排水量 | 16,561($m^3$) | 17,027($m^3$) | 466($m^3$) |
| 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | ・スタッフへの定期教育・勉強会の開催<br>・館内各所の表示によるご協力依頼の実施 | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)　　※ 数字は全て、旅館くらしき・倉敷珈琲館と合算数値です。
※食品リサイクル率データは採用期間2012年12月～2013年3月の集計値です。※ 食品リサイクル率目標値は全社目標値です。(前年度はデータ計測無し)

### 1.旅館くらしき

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

☆ 無駄な電気使用量を削減するため、節電を促す掲示物を照明スイッチ周辺に掲示しました。(※1)

特に、夜間の消灯を積極的に行い、省エネルギーを心がけました。

☆ 清掃時における空調カット及び、必要最小限の照明の使用を徹底しました。

※1

**《 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》**

☆ 廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品・ご協力会社様に持ち帰り可能な容器・ダンボールについては各自で持ち帰るよう、ご協力をいただいています。

**《 食品リサイクル率の向上について 》　＜和食調理部＞**

地域性もあり、廃食用油しかリサイクルに回せないのが現状です。下記項目の減量化への取組を実施しています。

☆ 食材に無駄が出ないように在庫の管理を行い効率の良い発注を心がけています

☆ 調理場にいる人数に応じて必要最低限の照明を使用しています。

☆ 食材の有効利用に努めており、出来るだけ廃棄物が出ないように調理方法等工夫しています。

**《 節水による総排水量削減について 》**

☆ 館内の定期巡回点検時に、お客様用共用トイレ等点検を実施し、無駄な吐水等無きように対応いたしました。

☆ 無駄な吐水を無くす意識を持たす為に、従業員の使用する洗い場・トイレ周辺に節水を呼びかける掲示をしました。※2

※2

### 2.倉敷珈琲館

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》**

☆ 無駄な電気使用量を削減するため、節電を促す掲示物を照明スイッチ周辺に掲示しました。
古民家を再利用した施設な為、スイッチの数が多くありますが、積極的に行い、省エネルギーを心がけました。

☆ 開店前・後の清掃時における空調カット及び、必要最小限の照明の使用を徹底しました。

☆ 冷蔵庫の扉に節電を促す掲示物を貼り喚起しています。

**《 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》**

☆ 廃棄物排出抑制及びリサイクルを目的に、納品・ご協力会社様に持ち帰り可能な容器・ダンボールについては各自で持ち帰るよう、ご協力をいただいています。

**《 節水による総排水量削減について 》**

☆ お客様用共用トイレ等点検を実施し、無駄なトイレットペーパの使用及び、吐水等無きように対応いたしました。

**《 コピー用紙使用量の削減について 》**

☆ 事務所コピー機にミスコピー防止のPOPを貼り紙の削減に務めました。

**【 次年度の取組内容について(旅館及び珈琲館共通)】**

☆ 節水、無駄な電気や紙を使わないという自分達の業務の中での無駄を少しでも減らす活動を身近なところから取り組みます。

☆ 館内の空調機・照明を必要のないときにはOFFにし、省エネを心がけます。

☆ 食品リサイクル促進のための減量化に努めます。

☆ 環境への取り組みについて、お客さまにご理解・ご協力をいただけるように啓発に努めます。

### 3.あなぶき家庭瀬店

昨年5月に開業したばかりの店舗で、運用は昨年10月から開始していますが、データ収集中であり、満足な結果は出せていませんが、食品リサイクルにおいては、廃食用油の全量リサイクルが出来ています。これからもスタッフの環境意識の向上を重点的に取組み、更なる成果が出せるように活動して行きます。

以上

# 6−13 管理本部

## [運用期間 2012 年 4 月～2013 年 3 月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数 1 人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②−①） | 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤−④） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | 2.21 | 2.51 | 0.3 | $CO_2$ 排出量(kg−$CO_2$) | 9,349(kg−$CO_2$) | 9,276(kg−$CO_2$) clear! | ▲73(kg−$CO_2$) |
| | | | | 電気使用量(kwh) | 21,128(kwh) | 20,767(kwh) clear! | ▲361(kwh) |
| | (kg−$CO_2$)/人 | (kg−$CO_2$)/人 | (kg−$CO_2$)/人 | ガス使用量($m^3$) | − | − | − |
| 2.分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減(一般) | 169 | 287 | 118 | 排出量((a)−(b))(t) | 0.705(t) | 0.655(t) clear! | ▲0.050(t) |
| | | | | 廃棄物発生量(a) (t) | 1.029(t) | 1.060(t) | 0.031(t) |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 | リサイクル量(b)(t) | 0.324(t) | 0.405(t) | 0.081(t) |
| 3.食品リサイクル率の向上 | − | − | − | 総発生量(t) | − | − | − |
| | | | | リサイクル量(t) | − | − | − |
| 4.節水による総排水量削減 | − | − | − | 総排水量($m^3$) | − | − | − |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 5 名 | 3 名 | 60% | 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | スタッフへの周知・啓発は朝礼及び各部署でのミーティング時に実施 | | |
| 7.グリーン購入の実施 | 文房具 ： グリーン購入を優先的に行っている。 | | | | | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg−$CO_2$)/KW(四国電力)　　※ 水道使用量は、共用にて計量の為データはありません。
※ ガス使用量･食品リサイクル率の目標は、食品を扱っていないため設定はありません。

### 【 活動実績及びその評価 】

#### 《 省エネルギー化推進による$CO_2$排出量削減について 》

☆ 2月下旬より気温の高い日はエアコンOFFを実施しました。(2月:2回、3月:5回)
☆ 蛍光灯の点灯数を常時17%OFFにしました。
☆ 冬の冷気遮断のためにカーテンを設置しました。(ホテルのカーテン入れ替えの際の古いものを再利用)
☆ 全社的なパソコンログ管理ソフト導入時に、各ディスプレイの待機時モードの設定を強制的に節電モードに設定しています。(バックライトが消える)

#### 《 分別･リサイクル推進による廃棄物排出量削減について 》

☆ 紙ごみ(シュレッダー、段ボール、新聞等)の回収先はあなぶきパートナーであるため再生率は100%です。
☆ 缶、瓶、ペットボトルの排出量抑制及びリサイクルを目的に、ベンダー機設置の協力会社に回収協力を依頼しました。

### 【 次年度の取組内容について 】

☆ 5月13日からあなぶき観光通りビルに事務所移転になります。
※1フロアーにグループ会社各社(7部署:穴吹興産の各部署、あなぶきメディカルケア、あなぶきパートナー他)が共同で使用するため、電気、水道、ガスの個別管理ができない状況になります。
したがって、今後の取り組み内容としては
① 同一フロアーのグループ各社へ当社のエコアクションへの取り組みを説明し、省エネルギー化推進の協力を要請します。
(昼休み時間の消灯等)
② 当社個別の管理が行える「コピー用紙」「廃棄物排出量」についてリデュースに注力します。
③ 勤怠管理システムの導入を行い、全社的な業務効率化と紙の使用量削減を図ります。

以上

# 6-14 ストアマネジメント課・フーズケア課

## [運用期間 2012年4月～2013年3月]

| 環境目標項目 | 実績値評価（原単位：利用者人数１人あたり）①目標値 | ②実績値 | ③評価（②-①） |
|---|---|---|---|
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | － | － | － |
| | ($kg-CO_2$)/人 | ($kg-CO_2$)/人 | ($kg-CO_2$)/人 |
| 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減（一般） | － | － | － |
| | (g)/人 | (g)/人 | (g)/人 |
| 3.食品リサイクル率の向上 | － | － | － |
| 4.節水による総排水量削減 | －(ℓ)/人 | －(ℓ)/人 | －(ℓ)/人 |
| 5.エコ検定合格(受検)による環境意識の向上 | 2 名 | 2 名 | 100% clear! |
| 7.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用推進 ： フーズケア課にて、一部蛍光灯を省エネ型(ECORAL)に変更 | | |

| 昨年度との実績値比較 | ④2011 年度（4 月～3 月） | ⑤2012 年度（4 月～3 月） | ⑥昨年比増減（⑤－④） |
|---|---|---|---|
| $CO_2$ 排出量($kg-CO_2$) | 6,521($kg-CO_2$) | 6,391($kg-CO_2$) clear! | ▲130($kg-CO_2$) |
| 電気使用量(kwh) | 16,022(kwh) | 15,703(kwh) clear! | ▲319(kwh) |
| ガス使用量($m^3$) | － | － | － |
| 排出量((a)-(b))(t) | － | 0.242(t) | － |
| 廃棄物発生量(a) (t) | － | 0.242(t) | － |
| リサイクル量(b)(t) | － | － | － |
| 総発生量(t) | － | － | － |
| リサイクル量(t) | － | － | － |
| 総排水量($m^3$) | 60($m^3$) | 73($m^3$) | 13($m^3$) |
| 6.スタッフ、お客様への啓発活動 | 各スタッフの環境に対する意識も高く節電・節水を重点項目として活動を実施 | | |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数：0.407($kg-CO_2$)/KW(四国電力) ※ストアマネジメント課・フーズケア課は、2013年12月より活動をしたため、目標計画を設定していないため記入ありません。※食品リサイクルに関しては、ストアマネジメント課は、生ゴミの発生がないため未記入。

※フーズケア課は、テナントであり導入直後のため実績数値はありません。
数値は全て、ストアマネジメント課のものです。

### 1.ストアマネジメント課

**【 活動実績及びその評価 】**

**《 省エネルギー化推進によるCO2排出量削減について 》**

☆ 無駄な電気使用量を削減するため、節電を促す掲示物を照明スイッチ周辺掲示しました。

☆ 店舗内エアコンのフィルターを1ヶ月に一度の周期で定期的に清掃を行い目詰まりによる過剰な電気使用を抑制しました。

**《 分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減いついて 》**

☆ 商品をご購入いただいたお客様には、土産用の個別袋が必要かを確認することで、過剰包装を抑制しました。

**《 節水による総排水量削減について 》**

☆ 各水道蛇口に節水を促す掲示物を掲示しました。

**【 次年度の取組内容について 】**

☆ 水道光熱費削減を図るために、実績数字の「見える化」により啓発活動を実施します。

☆ 店舗照明のLED化を検討します。

### 2.フーズケア課

**【 活動実績及びその評価 】**

フーズケア課は高齢者用施設の調理業務を請け負っています。施設運営者の管理する厨房での作業になります。EA21 の目標として数値化が困難であり、下記の行動を推進して来ました。

☆ 不要箇所の照明、エアコン OFF の徹底。

☆ 水栓の締め忘れ防止。

☆ 食材に無駄が出ない様、商品発注をしています。

☆ 調理方法の工夫により、食材の有効利用を行い、食品廃棄物を削減できるよう工夫しています。

☆ 高齢者が食べやすいように調理を工夫し、食べ残しが無くなるようにしています。

☆ 全施設共に、グリストラップの清掃をこまめに行い、排水の水質管理に努めています。

☆ ゴミの分別についても、施設ごとに回収方法が違うという事もありますが、運営側に働きかけ、分別が出来る体制になるように取り組んで参りたいと考えています。

**【 次年度の取組内容について 】**

現在高齢者施設の業務受託という限られた環境の中で、高齢者と地球に優しい取り組みを行っていますが、来年度も朝礼やミーティングでの啓発を実施します。

以上

# 7.今後のエコ活動計画（全施設共通）

## ◆ 全 社 環 境 目 標 ◆

| 環境目標項目 | | | 平成 24 年度実績 | 平成 25 年度目標 |
|---|---|---|---|---|
| 目 標 値 | | | 基準年度比 1.5 % 減 | 基準年度比 3.0 % 減 |
| 1.省エネルギー化推進による CO2 排出量削減 | $CO_2$排出量 | | 3.430(kg－$CO_2$)/人 | 3.379(kg－$CO_2$)/人 |
| 2.分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減 | 一般事業系 | 発生量 | 46.8 (g/人) | 36.21%（リサイクル率） |
| | | リサイクル量 | 22.6 (g/人) | |
| | リサイクル率 | | 32.56 % | |
| 3.食品リサイクル率の向上 | 食品 | 発生量 | 48.15 (g/人) | 46.31%（リサイクル率） |
| | | リサイクル量 | 15.95 (g/人) | |
| | リサイクル率 | | 33.12 % | |
| 4.節水による総排水量削減 | 排水量 | | 59.233 (ℓ/人) | 58.904 (ℓ/人) |
| 5.グリーン購入の実施 | LED 電球の使用 | | 白熱灯電球更新時の LED 使用率 80%以上 | |
| | 文房具 | | 全購入品目において、エコマーク製品購入割合 75%以上 | |
| | 設備機器・厨房機器等 | | 高効率機器の採用 100% | |
| 6.エコ検定合格（受検)による環境意識の向上 | 合格者数 | | 平成 24 年度末 75 名 | 平成 25 年度末 100 名 |
| 7.上記項目の全スタッフ・お客様への啓発 | 全スタッフ及びご協力会社様への教育を兼ねて、掲示等による啓発活動の実施。<br>お客様への掲示物等による活動への理解促進・ご協力要請の実施。 | | | |

※$CO_2$排出量は、平成24年度実績が平成25年度目標値を達成したため、平成25年度目標は平成24年度実績の1.5%減としてます。
※食品リサイクル率目標値は中長期目標数値を採用しています。
※購入電力の二酸化炭素排出係数:0.407(kg－$CO_2$)/KW(四国電力)

■ 全社環境目標の達成に向けて、展開する主要なエコ活動計画の内容は、以下の通りです。
『環境目標の達成に向けて全力を挙げて取り組みます。』

1. 『省エネルギー化の推進』に対して， 「私たちは、こうします。」
   ① 適正空調温度の管理(クールビズ・ウォームビズの実施)
   ② 不要照明・エアコンの適正管理(ON-OFF 管理と確認の徹底)
   ③ グリーン購入対象機器等の更新促進

2. 『廃棄物分別・リサイクル』に対して， 「私たちは、こうします。」
   ① 缶・ビン・ペットボトルの分別・リサイクルの推進
   ② 紙ゴミの分別・リサイクルの推進
   ③ ミスコピーの廃絶(印刷前の倍率・サイズ等の再確認)

高松国際ホテル
(ごみの分別に取組んでいるごみ置き場)

3. 『食品リサイクル』に対して、　**「私たちは、こうします。」**
　① 食品材料の有効利用により発生抑制をします。
　② 食品廃棄物の分別を徹底し、再生利用します。
　③ 食品廃棄物の脱水、乾燥等により減量をします。

4. 『節水』に対して、　**「私たちは、こうします。」**
　① 適正水量調整（節水こま等利用）による使用水量の削減
　② 水使用場所での節水の呼び掛け徹底

ホテル事業部
（環境リーダーへのEA21導入講習）

5. 『グリーン購入の実施』に対して　**「私たちは、こうします。」**
　① エコマーク製品の購入に努めます。
　② エコマーク製品以外の品目については、以下の項目を検討し、商品を購入します。
　　（1） 資源を持続可能な方法で採取し、有効利用していること。
　　（2） 再生された素材や再使用された部品を多く利用していること。
　　（3） 資源やエネルギー消費、環境被害を与えるような物質の使用及び放出が削減されていること。

6. 『エコ検定合格（受検）』、**「私たちは、こうします。」**
　全スタッフのエコ意識を高めるため、計画的に受検を奨励し、
　環境問題への意識向上を図ると共にエコピープルを増やします。

7. 『環境配慮啓発活動』に対して、「私たちは，こうします。」
　① 全スタッフへの周知徹底（ミーティング、掲示等の有効利用）
　② 定期的な実績報告による取組意識の維持向上

# 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の活動に関係する環境関連法規制等の遵守には日頃から注意を払っており、各施設において、適正に管理されており、違反、訴訟等は有りません。下記に概要をご報告致します。

| 環境関連法規制等 | 対応状況 |
|---|---|
| **1.食品リサイクル法** | 昨年度は指定数量以下で届出は実施していませんが、適正に管理しています。 |
| **2.廃棄物処理法** | 3R活動の推進により、廃棄物排出量の抑制に努めており、産業廃棄物の排出においても適正に管理されています。 |
| **3.自動車・家電・小型家電リサイクル法** | 対象商品の廃棄時は適正に手続きをしています。 |
| **4.下水道法** | 排水グリストラップの日常清掃等により、より、環境負荷の少ない排水を放流しています。 |
| **5.省エネ法** | 常日頃、節電に努めると共に、省エネ機器への更新等実施しています。定期の届出も適正に実施しています。 |
| **6.容器包装リサイクル法** | お客さまのご協力を得ながら、容器包装の発生抑制に努めています。また、定期の使用量報告、費用負担も適正に実施しています。 |
| **7.大気汚染防止法** | 対象機器保有施設において、煤塵発生量測定等適正に実施しています。 |
| **8.その他の法規制等** | 各施設において適正に管理・記録しています。 |

# 9. 代表者による全体評価と見直しについて

**①環境方針の見直しについて**

『2009年度版　EA21食品事業者向けガイドライン』に対応した新規の環境方針を、平成24年5月1日より採用する。

**②マネジメントレビュー**
**平成24年度エコアクション21運用状況報告会（平成25年5月8日）を受けての指示事項**

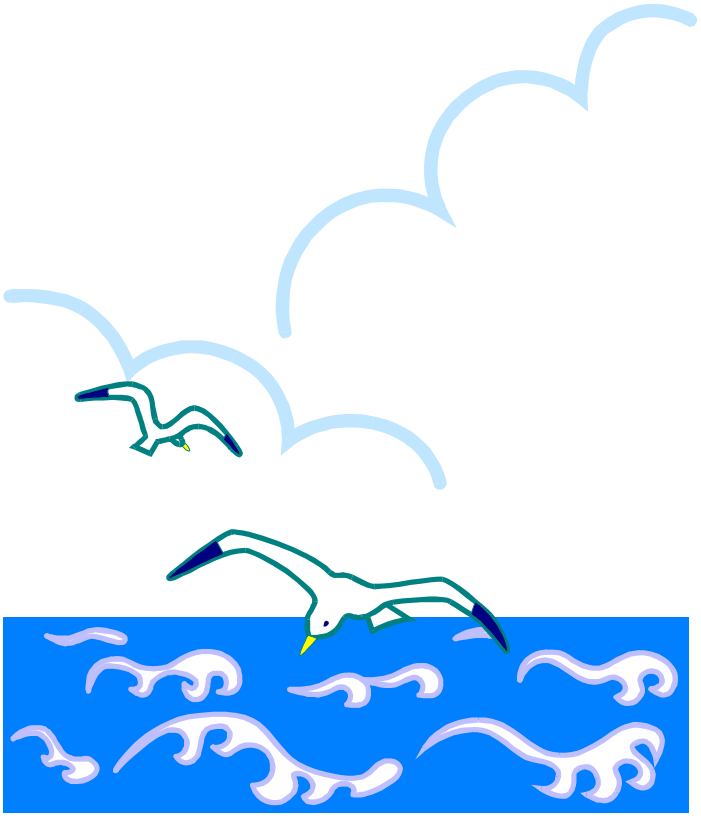
Ⅰ. 今年度の中間審査での全社認証登録を目指し、
各部門における運用体制の強化を図る事。

Ⅱ. 全社の運用状況について
1. 運用に伴い、経済的効果も出てきているが、基本的な課題も散見される。
更なる意識改革に努め、より効果的な運用を行う事。
2. エコ検定の資格取得を推進し、各人の意識向上を図り
地域社会に生かされ生きる企業を目指す事。

平成 24 年度運用状況報告会議
（H25.5.8）

Ⅲ. お客様へのサービスレベルの向上を常に念頭に置き、エコアクション 21 の
活動を推進すること。

平成24年度のエコ活動レポートは以上です。
当社は、今後とも全社を挙げて、環境に配慮した活動に取り組み、継続的に改善してまいる決意です。そして、この活動を自社のみにとどめるのではなく、広くお客様、地域社会の皆様のご理解・ご協力を得て、『持続可能な社会の実現』に向けて、貢献させていただけるように努めます。
地球環境の悪化がこれ以上進まないように憂慮され、常に問題意識をお持ちになる皆様と共に、次の世代に、よりよい地球環境を引き継げるよう、日々の活動を継続してまいります。



あなぶきエンタープライズ
anabuki

発行日：平成 25 年 6 月 11 日

※　今後随時、エコ活動レポートは当社の公式ホームページでも公開いたします。下記 URL にてご覧ください。
http://www.anabuki-enter.jp/